

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0		
		2	1	始業式・入学式	自己紹介
		3	4	保護者会	朝のリレー 野原はうたう
		4	4	教育相談	はじまりの風
	5 月	5	2	交通安全教室	
		6	4	区中研	話の構成を工夫しよう
		7	2	復習テスト	漢字の組み立てと部首
		8	4	運動会	ダイコンは大きな根？
		9	4	生徒総会	ちよつと立ち止まって
	6 月	10	3	区中研	情報を整理して説明しよう
		11	3	スポーツテスト	指示する語句と接続する語句 文法1
		12	4	期末考査	さまざまな表現技法 比喻
		13	3		空の詩 三編
	7 月	14	4		語彙を豊かに
		15	4		楷書を書こう
		16	3	終業式	読書を楽しむ
	9 月	17	4	始業式	大人になれなかった弟たちに……
		18	4		星の花が降るころに
		19	2	修学旅行	
		20	3	定期考査	漢字の音訓
	10 月	21	2		「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ
		22	4		
		23	4		行書で書いてみよう
		24	4	文化祭	
		25	3	教育相談	文の組み立て
	11 月	26	3	音楽鑑賞教室	古典の世界
		27	2	定期考査	蓬萊の玉の枝―「竹取物語」
		28	4		
		29	4	チャレドリ	今に生きる言葉 故事成語
	12 月	30	3	三者面談	百人一首
		31	4		書き初め
		32	4		
		33	1	終業式	
3 学期	1 月	34	2	始業式	少年の日の思い出
		35	4		
		36	4		
		37	4	校外学習	二十歳になった日
	2 月	38	4	作品展	構成や描写を工夫して書こう
		39	4	区中研	単語の分類
		40	4		
		41	1	定期考査	
	3 月	42	4	遠足	一年間の学びを振り返ろう
		43	4		百人一首
		44	1	卒業式	
		45	0	修了式	

1 年国語科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	・学年別配当漢字表に示されている漢字に加え、そのほかの常用漢字の読み書きができる。また、文や文章の中で使うことができる。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、五感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古典を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。	【話すこと・聞くこと】 ・目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・必要に応じて記録し、質問しながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 【書くこと】 ・書く内容の中心が明確になるよう、段落の役割などを意識し文章の構成や展開を考えている。 ・根拠を明確にししながら、自分の考えがわかる文章になるように工夫している。 【読むこと】 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	・すすんで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものとし、考えたことを伝えようとしている。 ・積極的に場面と場面、場面と描写などを結び付けて解釈し、学習の見通しをもって考えたことを伝えあおうとしている。 ・必要な情報に着目して要旨をまとめると共に、学習課題に沿って積極的に文章にまとめようとしている。 ・古典の世界に親しむと共に、学習の見通しを立てて考えたことを積極的に伝えようとしている。 ・自分の考えを確かなものにするとともに、学習課題について粘り強く考え、伝え合おうとしている。
評 価 方 法	・常用漢字配当漢字表に示された漢字の読み書きができる。 ・語句の役割を理解し、語彙を豊かにすることができる。 ・文語のきまりや訓読の仕方を理解し、活用できる。 ・小テスト、定期考査	・設定した話題に沿って、自分の考えを発表できる。 ・文章の効果的な構成や根拠を考えて文章を書ける。 ・文章を読み、内容を理解したうえで自分の意見をもてる。 ・ワークシート、定期考査、課題作文、スピーチ	・ノート、ワークシートなどを提出し、授業に意欲的に取り組むことができる。 ・様々な分野に興味・関心をもち、文章に触れることができる。 ・ノート、ワークシート
カ ッ テ ィ ン グ ボ ー ド	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0		
		2	1	自己紹介	・硬筆
		3	4	見えないだけ	・音読・詩の読解・表現技法
		4	4	アイスプラネット	・文学的文章の読解(表現の仕方)
	5 月	5	2	交通安全教室	
		6	4	区中研	・枕草子
		7	2	復習テスト	
		8	4	運動会	・クマゼミ増加の原因を探る
		9	4	生徒総会	・説明的文章の読解 文章の構成を捉える
	6 月	10	3	区中研	短歌に親しむ 短歌を味わう
		11	3	スポーツテスト	
		12	4	期末考査	・行書の特徴の確認
		13	3		・熟語の構成について理解する
	7 月	14	4	言葉の力	・随筆の読解
		15	4	類義語・対義語・多義語	・類義語・対義語・多義語を理解する
		16	3	終業式	・いろは歌
	9 月	17	4	始業式	字のない葉書
		18	4		
		19	2	修学旅行	敬語
		20	3	定期考査	同じ訓・同じ音をもつ漢字
	10 月	21	2		モアイは語る
		22	4		
		23	4		適切な根拠を選んで書こう
		24	4	文化祭	
		25	3	教育相談	音読を楽しむ「平家物語」
	11 月	26	3	音楽鑑賞教室	「平家物語」の世界
		27	2	定期考査	扇の的
		28	4		仁和寺にある法師―「徒然草」
		29	4	チャレドリ	漢詩の風景
	12 月	30	3	三者面談	君は「最後の晩餐」を知っているか
		31	4		文法
		32	4		百人一首
		33	1	終業式	書き初め
3 学期	1 月	34	2	始業式	書き初め
		35	4		走れメロス
		36	4		
		37	4	校外学習	文法
	2 月	38	4	作品展	話し言葉と書き言葉
		39	4	区中研	送り仮名
		40	4		
		41	1	定期考査	国語の学びを振り返ろう
	3 月	42	4	遠足	鍵
		43	4		百人一首
		44	1	卒業式	
		45	0	修了式	

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係について理解している。 ・本や文章には、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使用している。 ・歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通し、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	【話すこと・聞くこと】 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 【書くこと】 ・伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 【読むこと】 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。	・漢字や語句の意味について理解を深め、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 ・登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。 ・登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。 ・文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって議論しようとしている。 ・積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。 ・古典の世界に親しむと共に、現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって解釈したことを表現しようとしている。 ・学習課題に対して、粘り強く意欲的に取り組み、自らを調整していくことで考え方を広げ、技能を磨こうとしている。
評価方法	・常用漢字配当漢字表に示された漢字の読み書きができる。 ・語句のはたらきや特徴について理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができ、活用できる。 ・古典作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。 ・小テスト、定期考査	・自ら課題を設定し、話の構成や表現の工夫をして発表することができる。 ・文章構成や表現の工夫とその効果について考え、文章を整えることができる。 ・文章を読んで理解したこと、考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・ワークシート、定期考査、課題作文、スピーチ	・授業に積極的に参加し、ノートやワークシートへの取組ができる。 ・様々な分野に興味・関心を持ち、知識や技能を磨きながら自らを調整することができる。 ・ノート、ワークシート
カットインポイント	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0		
		2	1	世界はうつくしいと	・詩の読解・表現技法・群読・硬筆
		3	3	保護者会	
		4	3	教育相談	・文学的文章の読解
	5 月	5	2	交通安全教室	・単語の活用、助詞や助動詞の働きを理解する
		6	3	区中研	
		7	3	復習テスト	・漢文の訓読 ・漢文の読解
		8	3	運動会	・説明的文章の読解 ・論理の展開のしかたを捉える
		9	3	生徒総会	・行書の特徴の確認
	6 月	10	2	区中研	
		11	2	スポーツテスト	・俳句の可能性
		12	3	期末考査	・俳句の基礎を学ぶ ・俳句の創作
		13	2		・批判的に文章を読む
	7 月	14	3		・言葉の使い方を理解する
		15	3		・文章や資料の読み取り
		16	2	終業式	
	9 月	17	3	始業式	挨拶——原爆の写真に寄せて
		18	3		故郷
		19	1	修学旅行	慣用句・ことわざ・故事成語
		20	3	定期考査	
2 学期	10 月	21	1		漢字の造語力
		22	3		考えを効果的に伝えよう
		23	3		文法への扉
		24	3	文化祭	聴きひたる 初恋
		25	2	教育相談	
	11 月	26	2	音楽鑑賞教室	和歌の世界 古今和歌集 仮名序
		27	2	定期考査	君待つと一万葉・古今・新古今
		28	3		行書と仮名を調和させて書く
		29	3	チャレドリ	夏草——「おくのほそ道」から
	12 月	30	3	三者面談	自己PR文を書く
		31	3		それでも、言葉を
		32	3		書き初め
		33	2	終業式	
	1 月	34	2	始業式	温かいスープ
		35	3		アラスカとの出会い
		36	3		律儀な桜
		37	3	校外学習	わたしを束ねないで
3 学期	2 月	38	3	作品展	漢字に親しもう
		39	3	区中研	
		40	3		三年間の歩みを振り返ろう
		41	2	定期考査	
	3 月	42	1	遠足	
		43	1		国語の力試し
		44	0	卒業式	
		45	0	修了式	

3 年国語科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使用している。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに使い分けをし、語感を磨き語彙を豊かなものにしていく。 ・話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めるとともに、情報を信頼性の確かめ方を理解し使用している。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しみ、長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使用している。	【話すこと・聞くこと】 ・社会生活の中から話題を決め、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて話の構成や表現を工夫している。 ・話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価したり、話合いにつなげたりし、自分の考えを広げ深めている。 【書くこと】 ・目的や意図に応じて社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にして読み手を説得できるような論理の展開を工夫し、文章全体を整えている。 【読むこと】 ・文章を読んで、論理や物語の展開の仕方、ものの見方や考え方を捉え、自分の考えを広げたり深めたりして自分の意見をもとうとしている。	・自らの言語感覚を豊かなものにし、言葉によって自分の考えを形成したり、考えたことを相手に伝えようとしたりしている。 ・相手、目的、場面などに応じて適切な言葉を判断し、相手に伝わるように使用しようとしている。 ・時間の経過による言葉の変化などについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。 ・自らの学習課題に対し、粘り強く取り組み、自己を向上させ、思いや考えを伝え合おうとする態度を養おうとしている。 ・粘り強く学習課題に取り組み、調整しながら意欲的に学習する態度を養おうとしている。
評 価 方 法	・常用漢字配当漢字表に示された漢字の読み書きができる。 ・語彙を豊かにし、適切に使用することができる。 ・古典の基本を理解し、活用できる。 ・小テスト、定期考査、単元テスト	・自ら課題を設定し、自分の考えを発表できる。 ・相手に伝わる効果的な文章構成や表現を考えて文章を書ける。 ・相手の考えから自分の考えを広げることができる。 ・ワークシート、定期考査、単元テスト、課題作文、発表	・授業に積極的に取り組み、ノートやワークシートへの取り組みができる。 ・様々な分野に興味・関心をもち、自分の言語感覚と学習意欲を向上させることができる。 ・ノート、ワークシート、発表等
カ ッ テ ィ ン グ ボ ー ド	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4月	1	0	【歴史】 第1章歴史のとらえ方 第2章古代までの日本 【地理】 第1章世界の姿 第2章世界各地の人々の生活と環境	【歴史】 第1章歴史のとらえ方 ・年代、年号などの表し方 第2章古代までの日本 第1節文明のおこりと日本の成り立ち ・世界の古代文明 ・縄文時代、弥生時代 第2節古代国家の歩みと東アジア世界 ・聖徳太子の政治、飛鳥時代 ・大化の改新、奈良時代 ・平安時代、摂関政治 【地理】 第1章世界の姿 第1節地球をながめて 第2節世界のおもな国 第3節緯度と経度 第4節地球儀と地球の遠い 第5節世界の略地図 第2章世界各地の人々の生活と環境 第1節世界各地の市場をながめて 第2節暑い地域のくらし 第3節寒い地域のくらし 第4節乾燥した地域のくらし 第5節高地のくらし 第6節世界の住居、衣服とその変化 第7節世界の食文化とその変化 第8節宗教と生活とのかかわり
		2	1		
		3	3		
		4	3		
	5月	5	2		
		6	3		
		7	3		
		8	3		
	6月	9	3		
		10	2		
		11	2		
		12	3		
	7月	13	2		
		14	3		
		15	3		
		16	2		
2 学期	9月	17	3	【歴史】 第3章中世の日本 【地理】 第3章世界の諸地域 第4章世界のさまざまな地域の調査	【歴史】 第3章中世の日本 第1節武士の台頭と鎌倉幕府 ・武士の登場、鎌倉時代 第2節東アジア世界とのかかわりと社会の変動 ・蒙古襲来、南北朝時代 ・室町時代と文化 【地理】 第1節アジア州 第2節ヨーロッパ州 第3節アフリカ州 第4節北アメリカ州 第5節南アメリカ州 第6節オセアニア州 第4章世界のさまざまな地域の調査 第1節調べる国や地域とテーマを決める 第2節資料を収集し分析しよう 第3節調べたことをまとめて意見交換しよう
		18	3		
		19	1		
		20	3		
	10月	21	1		
		22	3		
		23	3		
		24	3		
	11月	25	2		
		26	2		
		27	1		
		28	3		
	12月	29	3		
		30	2		
		31	3		
		32	3		
3 学期	1月	33	1		
		34	1		
		35	3		
		36	3		
	2月	37	3		
		38	3		
		39	3		
		40	3		
	3月	41	1		
		42	3		
		43	3		
		44	1		
		45	0		

1 年社会科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	【地理的分野】 ・世界の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計、映像など地域に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、まとめたりしている。 【歴史的分野】 ・我が国の歴史における時代の移り変わりや、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解し、その知識を身に付けている。 ・我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色、地域の歴史に対する関心を高め意欲的に追究しようとしている。	【地理的分野】 ・地理的事象から課題を見いだし、世界の地域的特色を地域の規模に応じて環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 【歴史的分野】 ・我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色、地域の歴史について考察し、その過程や結果を適切に表現している。	【地理的分野】 ・地理的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し広い視野に立って世界の諸地域の特色について認識を養おうとする。 【歴史的分野】 ・我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色、地域の歴史に対する関心を高め意欲的に追究しようとしている。
評 価 方 法	・世界の国々と世界の自然や産業の様子を理解している。 ・歴史的な出来事、事象や大きな流れを理解している。 ・教科書の重要語句を理解している。 ・教科書などのデータ資料を見ながら課題に答えられる。 小テスト、定期考査	出来事について仮説や予想を立てられる。 間違えでも自分の考えもち、発表できる。 小テスト、定期考査 授業プリント、意見文	・ノート、ファイル、ワークなどを提出する。授業を積極的に取り組んでいる。 ・日々の様々な社会的な出来事に興味関心をもつことができる。 ・小テスト、授業プリント
カ ッ テ ィ ン グ ・ ボ イ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学 期	4 月	1	0	【歴史】 第3章中世の日本 第4章近世の日本 【地理】 第2部日本の様々な地域 第1章日本の姿 第2章世界と比べた日本の地域的特色	【歴史】 第3章中世の日本 第2節東アジア世界とのかかわりと社会の変動 ・蒙古襲来、南北朝時代 ・室町時代と文化 ・戦国時代 第4章近世の日本 第1節ヨーロッパ人との出会いと全国統一 第2節江戸幕府の成立と鎖国 第3節産業の発達と幕府政治の動き 【地理】 第1章日本の姿 第1節世界の中での日本の位置 第2節時差でとらえる日本の位置 第3節日本の範囲 第4節都道府県と地域区分 第5節さまざまな地域区分と略地図 第2章世界と比べた日本の地域的特色 第1節自然環境の特色 第2節人口の特色 第3節資源や産業の特色 第4節地域間の結びつきの特色
		2	1		
		3	3		
		4	3		
	5 月	5	2		
		6	3		
		7	3		
		8	3		
	6 月	9	3		
		10	2		
		11	2		
		12	3		
	7 月	13	2		
		14	3		
		15	3		
		16	2		
2 学 期	9 月	17	3	【歴史】 第5章開国と近代日本の歩み 【地理】 第3章日本の諸地域 第4章身近な地域の調査	【歴史】 第5章開国と近代日本の歩み 第1節欧米の進出と日本の開国 第2節明治維新 第3節日清・日露戦争と近代産業 【地理】 第3章日本の諸地域 第1節九州地方 第2節中国・四国地方 第3節近畿地方 第4節中部地方 第5節関東地方 第6節東北地方 第7節北海道地方 第4章身近な地域の調査 第1節地域を調べるテーマを決めよう 第2節仮説をたてて調べる方法を考えよう 第3節実際に調査をしてみよう① 第4節実際に調査をしてみよう② 第5節調査結果を整理して地域の課題をとらえよう 第6節意見交換をして発表しよう
		18	3		
		19	1		
		20	3		
	10 月	21	1		
		22	3		
		23	3		
		24	3		
	11 月	25	2		
		26	2		
		27	1		
		28	3		
	12 月	29	3		
		30	2		
		31	3		
		32	3		
3 学 期	1 月	33	1		
		34	1		
		35	3		
		36	3		
	2 月	37	3		
		38	3		
		39	3		
		40	3		
	3 月	41	1		
		42	3		
		43	3		
		44	1		
		45	0		

2 年社会科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	【地理的分野】 ・日本の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計、映像など地域に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、まとめたりしている。 【歴史的分野】 ・我が国の歴史における時代の移り変わりや、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解し、その知識を身に付けている。 ・我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色、地域の歴史に対する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったりしている。	【地理的分野】 ・地理的事象から課題を見いだし、日本の地域的特色を地域の規模に応じて環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 【歴史的分野】 ・我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色、地域の歴史について考察し、その過程や結果を適切に表現している。	【地理的分野】 ・地理的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し広い視野に立って日本の諸地域の特色について認識を養おうとする。 【歴史的分野】 ・我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色、地域の歴史に対する関心を高め意欲的に追究しようとしている。
評 価 方 法	・日本の諸地域の自然や産業の様子を理解している。 ・歴史的な出来事、事象や大きな流れを理解している。 教科書の重要語句を理解している。 ・教科書などのデータ資料を見ながら課題に答えられる。 ・小テスト、定期考査	・出来事について仮説や予想を立てられる。 間違えでも自分考えを持ち、発表できる。 ・小テスト、定期考査、授業プリント、意見文	・ノート、ファイル、ワークなどを提出する。授業を積極的に取り組んでいる。 ・日々の様々な社会的な出来事に興味関心をもつことができる。 ・小テスト、授業プリント
カッ テ ィ ン グ ・ ボ イ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0	【歴史】 第6章二度の世界大戦と日本 第7章現代の日本と世界 【公民】 第1章現代社会と私たちの生活 第2章個人の尊重と日本国憲法 第3章現代の民主政治と社会	【歴史】 第5章開国と近代日本の歩み 第3節日清・日露戦争と近代産業 第6章二度の世界大戦と日本 第3節第二次世界大戦と日本 第7章現代の日本と世界 第1節戦後日本の発展と国際社会 第2節新たな時代の日本と世界 【公民】 第1章現代社会と私たちの生活 第1節現代社会の特色と私たち 第2節私たちの生活と文化 第3節現代社会の見方や考え方 第2章個人の尊重と日本国憲法 第1節人権と日本国憲法 第2節人権と共生社会 第3節これからの人権保障 第3章現代の民主政治と社会 第1節現代の民主政治 第2節国の政治の仕組み
		2	4		
		3	4		
		4	4		
	5 月	5	2		
		6	4		
		7	3		
		8	4		
	6 月	9	4		
		10	4		
		11	3		
		12	4		
	7 月	13	4		
		14	4		
		15	2		
		16	2		
	9 月	17	4	【公民】 第3章現代の民主政治と社会 第4章くらしと経済 第5章地球社会とわたしたち 終章よりよい社会をめざして 公民まとめ 3年間のまとめ	【公民】 第3章現代の民主政治と社会 第3節地方自治と私たち 第4章くらしと経済 第1節消費生活と経済 第2節生産と労働 第3節価格の働きと金融 第4節政府の役割と国民の福祉 第5節これからの経済と社会 第5章地球社会とわたしたち 第1節国際社会の仕組み 第2節さまざまな国際問題 第3節これからの地球社会と日本 終章よりよい社会をめざして 公民まとめ 3年間のまとめ
		18	3		
		19	4		
		20	4		
	10 月	21	4		
		22	4		
		23	4		
		24	4		
	11 月	25	3		
		26	4		
		27	3		
		28	3		
	12 月	29	4		
		30	3		
		31	4		
		32	4		
3 学期	1 月	33	3		
		34	4		
		35	4		
		36	4		
	2 月	37	4		
		38	3		
		39	3		
		40	2		
	3 月	41	2		
		42	0		
		43	0		
		44	0		

3 年社会科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	【歴史的分野】 - 我が国の歴史における時代の移り変わりや、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解し、その知識を身に付けている。 - 我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色、地域の歴史に対する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったりしている。 【公民的分野】 - 現代社会についての見方や考え方の基礎、現代の社会生活及び政治や経済の基本的な考え方、社会的事象の意義や役割などの知識を身に付けている。また、現代の社会的事象に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、活用したりしている。	【歴史的分野】 - 我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色、地域の歴史について考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【公民的分野】 - 現代の社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に実現している。	【歴史的分野】 - 我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色、地域の歴史に対する関心を高め意欲的に追究しようとしている。 【公民的分野】 - 現代の社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立ってよりよい社会を考え公民としての自覚をもち、課題解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。
	評価方法	- 歴史的な出来事、事象や大きな流れを理解している。 - 教科書の重要語句を理解している。 - 教科書などのデータ資料を見ながら課題に答えられる。 - 小テスト、定期考査	- 出来事について仮説や予想を立てられる。 - 間違えでも自分考えを持ち、発表できる。 - 小テスト、定期考査、授業プリント、意見文
カットインク・ポイント	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数		単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0		0章 算数から数学へ	1節 整数の性質 ・素数 ・素因数分解 ・整数の性質
		2	1	保護者会	1章 正負の数	1節 正負の数 ・符号のついた数 ・数の大小
		3	4	教育相談	2節 加法と減法	・加法 ・減法
		4	4	交通安全教室	3節 乗法と除法	・乗法 ・素数の積 ・除法
	5 月	5	2	区中研	4節 正負の数の利用	・四則の混じった計算 ・数の範囲と四則
		6	4	復習テスト		・章末問題
		7	2	運動会	2章 文字と式	1節 文字を使った式 ・文字の使用 ・文字を使った式の表し方
		8	4	生徒総会	2節 文字式の計算	・代入と式の値 ・1次式の計算
	6 月	9	4	区中研	3節 文字式の利用	・数量の表し方 ・関係の表し方 ・章末問題
		10	3	スポーツテスト	1節 方程式とその解き方	・方程式とその解 ・方程式の解き方
		11	3	期末考査	2節 1次方程式の利用	・1次方程式の利用 ・比例式の利用 ・章末問題
		12	4	終業式	4章 比例と反比例	1節 関数 ・関数 2節 比例 ・比例する量 ・比例のグラフ
	7 月	13	3	始業式	3節 反比例	・反比例する量 ・反比例のグラフ
		14	4	定期考査	4節 比例と反比例の利用	・反比例の表、式、グラフ ・比例と反比例の利用 ・章末問題
		15	4	文化祭	5章 平面図形	1節 図形の移動 ・図形の移動
		16	3	教育相談	2節 基本の作図	・作図の仕方 ・基本の作図
	9 月	17	4	音楽鑑賞教室	3節 おうぎ形	・おうぎ形 ・章末問題
		18	4	定期考査	6章 空間図形	1節 いろいろな立体 ・いろいろな立体 ・正多面体
		19	2	チャレドリ	2節 立体の見方と調べ方	・直線や平面の位置関係 ・面の動き ・立体の展開図 ・立体の投影図
		20	3	三者面談	3節 立体の体積と表面積	・体積、表面積 ・章末問題
3 学期	10 月	21	2	校外学習	7章 資料の分析と活用	1節 資料の分析 ・度数の分布 ・累積度数 2節 資料の活用 ・範囲と代表値 ・ことがらの起こりやすさ ・章末問題
		22	4	作品展	活用の問題	・社会とつながる ・教科とつながる ・数学の歴史
		23	4	区中研	まとめ	1年生のまとめ プリントなど
		24	4	定期考査		
	1 月	25	3	始業式		
		26	3	卒業式		
		27	2	修了式		
		28	4			
	12 月	29	4			
		30	3			
		31	4			
		32	4			
	1 月	33	1			
		34	2			
		35	4			
		36	4			
	2 月	37	4			
		38	4			
		39	4			
		40	4			
	3 月	41	1			
		42	4			
		43	4			
		44	1			
		45	0			

1 年数学科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・数学に関する基礎的知識を理解し、表現・処理の仕方を身に付けているか。 ・正負の数の表し方を理解し、正しく計算しているか。 ・文字式の表し方の決まりにしたがって表し、計算方法を正しく理解し計算することができたか。 ・数量関係を方程式で表すことができたか。 ・方程式の解き方を理解し、解くことができたか。 ・比例・反比例の特徴を理解し、数量関係を式・グラフで表すことができたか。 ・基本の作図の方法を理解し、作図することができたか。 ・いろいろな立体の特徴や表面積、体積の求め方を理解し、求めることができたか。 ・資料やデータから特徴をみつけるとともに、代表値を求めることができたか。	・数学的知識や技能を活用して論理的に考察することができたか。 ・正負の数の考え方を様々な問題に活用して問題を解決できたか。 ・文字式の考え方を様々な問題に活用して問題を解決できたか。 ・方程式の考え方を様々な問題の解決に活用して問題を解決できたか。 ・関数の考え方を様々な問題の解決に活用したか。 ・基本的な作図の方法を利用して様々な作図の問題の解決に利用できたか。 ・空間における直線、平面の関係を利用して様々な問題の解決に利用できたか。 ・ちらばりと代表値から資料の特徴をつかみ、説明できたか。	・数学の楽しさやよさを実感して粘り強く考え、生活や学習に生かすことができたか。 ・正負の数の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習に生かそうとしているか。 ・文字を用いることの必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習に生かそうとしているか。 ・方程式の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習に生かそうとしているか。 ・関数関係の意味や比例、反比例について考え、生活や学習に生かそうとしているか。 ・平面図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を考え、生活や学習に生かそうとしているか。 ・空間図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を考え、生活や学習に生かそうとしているか。 ・ヒストグラムや相対度数、確率の必要性和意味を考え、生活や学習に生かそうとしているか。
評価方法	・授業観察 ・ワークシートの記入、提出状況 ・定期考査 ・小テスト ・レポート ・ワークの取組と提出物	・授業観察 ・ワークシートの記入、提出状況 ・定期考査 ・小テスト ・レポート ・ワークの取組と提出物	・授業観察 ・ワークシートの記入、提出状況 ・定期考査 ・小テスト ・レポート ・ワークの取組と提出物
カット	それぞれの観点別評価は原則として		
イン	90～100%・・・「5」		
ク	80～90%・・・「4」		
ポ	50～80%・・・「3」		
イ	20～50%・・・「2」		
ント	0～20%・・・「1」		

学期	月	週	時数		単元名	内 容
1 学 期	4 月	1	0		1章 文字式を使っ て説明しよう [式の計算]	1節 式の計算 ・単項式と多項式 ・多項式の計算 ・単項式の乗法と除法
		2	1	始業式入学式		
		3	3	保護者会		
		4	3	教育相談		
	5 月	5	2	交通安全教室	2節 文字式の利 用	・式の値 ・章末問題
		6	3	区中研	2章 方程式を利用 して問題を解決しよ う [連立方程式]	1節 連立方程式 とその解き方 ・式による説明 ・等式の変形 ・連立方程式とその解 ・連立方程式の解き方
		7	3	復習テスト		
		8	3	運動会		
		9	3	生徒総会		
	6 月	10	2	区中研	2節 連立方程式 の利用	・いろいろな連立方程式 ・連立方程式の利用 ・章末問題
		11	2	スポーツテスト	3章 関数を利用し て問題を解決しよ う [1次関数]	1節 1次関数 ・1次関数 ・1次関数の値の変化
		12	3	期末考査		2節 1次関数の 性質と調べ方 ・1次関数のグラフ ・1次関数を求めること
		13	2			3節 2元1次方程式 と1次関数 ・2元1次方程式のグラフ ・連立方程式とグラフ
	7 月	14	3			4節 1次関数の利用 ・1次関数とみなすこと ・1次関数のグラフの利用 ・1次関数と図形 ・章末問題
		15	3		4章 図形の性質の 調べ方を考えよう [平行と合同]	1節 説明のしくみ ・多角形の角の和の説明
		16	2	終業式		2節 平行線と角 ・平行線と角
	9 月	17	3	始業式		3節 合同な図形 ・合同な図形の性質と表し方 ・三角形の合同条件 ・証明のすすめ方 ・章末問題
		18	3			
		19	1	修学旅行	5章 図形の性質を 見つけて証明しよう [三角形と四角形]	1節 三角形 ・二等辺三角形の性質 ・二等辺三角形になるための条件 ・直角三角形の合同
		20	3	定期考査		2節 平行四辺形 ・平行四辺形の性質 ・平行四辺形になるための条件 ・特別な平行四辺形 ・平行線と面積 ・章末問題
3 学 期	10 月	21	1			
		22	3			
		23	3			
		24	3	文化祭	6章 起こりやすさを とらえて説明しよう [確率]	1節 確率 ・確率とその求め方 ・いろいろな確率
	11 月	25	2	教育相談		2節 確率による説明 ・確率による説明 ・章末問題
		26	2	音楽鑑賞教室		
		27	1	定期考査		
	12 月	28	3		7章 データを比較して 判断しよう [データの比較]	1節 四分位範囲と箱ひげ 図 ・四分位範囲と箱ひげ図 ・章末問題
		29	3	チャレドリ		
		30	2	三者面談		
		31	3			
	1 月	32	3		2学年のまとめ	・プリントなど
		33	1	終業式		
		34	1	始業式		
		35	3			
	2 月	36	3			
		37	3	校外学習		
		38	3	作品展		
		39	3	区中研		
	3 月	40	3			
		41	1	定期考査		
		42	3	遠足		
		43	3			
		44	1	卒業式		
		45	0	修了式		

2 年数学科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗 法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を式で表 したり、式の意味を読み取ったりするこ とができる。 ・連立2元1次方程式の必要性和意味及び その解の意味を理解し、簡単な連立2元 1次方程式を解くことができる。 ・事象の中には1次関数として捉えられる ものがあることを知っている。 ・2元1次方程式を関数を表す式とみるこ とができる。 ・1次関数の変化の割合やグラフの切片と 傾きの意味を理解している。 ・平行線や角の性質を理解している。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同 条件について理解している。 ・証明の必要性和意味及びその方法につい て理解している。 ・定義やことがらの仮定と結論、逆の意味 を理解している。 ・反例の意味を理解している。 ・正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の 特別な形であることを理解している。 ・多数回の試行によって得られる確率と関 連付けて、場合の数をもとにして得られ る確率の必要性和意味を理解している。 ・簡単な場合について確率を求めることが できる。 ・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を 理解している。	・具体的な数の計算や既に学習した計 算の方法と関連付けて、整式の加法 と減法及び単項式の乗法と除法の 計算の方法を考察し表現すること ができる。 ・1元1次方程式と関連付けて、連立 2元1次方程式を解く方法を考察し 表現することができる。 ・連立2元1次方程式を活用して具体 的な場面を考察し表現することが できる。 ・1次関数として捉えられる2つの数 量について、変化や対応の特徴を見 だし、表、式、グラフを相互に関 連付けて考察し表現することがで きる。 ・三角形の合同条件などをもとにして 三角形や平行四辺形の基本的な性 質を論理的に確かめることができ る。 ・証明を読んで新たな性質を見いだ し、表現することができる。 ・同様に確からしいことに着目し、場 合の数をもとにして得られる確率 の求め方を考察し表現することが できる。 ・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデー タの分布の傾向を比較して読み取 り、批判的に考察し判断することが できる。	・文字を使った式の必要性和意味を考 えようとしている。 ・文字を使った式を活用した問題解決 の過程を振り返って検討しようと している。 ・連立2元1次方程式の必要性和意味 を考えようとしている。 ・連立2元1次方程式を活用した問題 解決の過程を振り返って検討しよ うとしている。 ・1次関数の必要性和意味を考えよう としている。 ・1次関数について学んだことを生活 や学習に生かそうとしている。 ・証明の必要性和意味及び証明の方法 を考えようとしている。 ・証明の必要性和意味及びその方法を 考えようとしている。 ・平面図形の性質や図形の合同につい て学んだことを生活や学習に生か そうとしている。 ・場合の数をもとにして得られる確率 の必要性和意味を考えようとして いる。 ・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意 味を考えようとしている。
評 価 方 法	・授業観察 ・ワークシートの記入、提出状況 ・定期考査 ・小テスト ・レポート ・ワークの取組と提出物	・授業観察 ・ワークシートの記入、提出状況 ・定期考査 ・小テスト ・レポート ・ワークの取組と提出物	・授業観察 ・ワークシートの記入、提出状況 ・定期考査 ・小テスト ・レポート ・ワークの取組と提出物
カッ テ ィ ン グ ・ ボ イ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～80%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数		単元名	内 容	
1 学期	4 月	1	0	始業式入学式 保護者会 教育相談	第1章 多項式 1節 多項式の計算 2節 因数分解 3節 式の計算の利用 章の問題	・多項式と単項式の乗除 ・多項式の乗法 ・乗法公式 ・因数分解 ・公式を利用する因数分解 ・式の利用	
		2	1				
		3	4				
		4	4				
	5 月	5	2	交通安全教室	第2章 平方根 1節 平方根 2節 根号を含む式の計算 3節 平方根の利用 章の問題	・平方根 ・素因数分解 ・根号をふくむ式の乗除 ・根号をふくむ式の加減 ・根号をふくむ式のいろいろな計算 ・平方根の利用	
		6	4	区中研			
		7	2	復習テスト			
		8	4	運動会			
	6 月	9	4	生徒総会	第3章 2次方程式 1節 2次方程式とその解き方 2節 2次方程式の利用 章の問題	・2次方程式 ・平方根の考えを使った解き方 ・2次方程式の解の利用 ・因数分解を使った解き方 ・いろいろな二次方程式 ・2次方程式の利用	
		10	3	区中研			
		11	4	スポーツテスト			
		12	4	期末考査			
	7 月	13	4	終業式	第4章 関数 関数 $y=ax^2$ 1節 関数 $y=ax^2$ 2節 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方 3節 いろいろな関数の利用 章の問題	・2乗の関数 ・2乗の関数のグラフ ・2乗の関数の値の変化 ・2乗の関数の利用 ・いろいろな関数	
		14	4				
		15	4				
		16	3				
3 学期	9 月	17	4	始業式	第5章 相似な図形 1節 相似な図形 2節 平行線と比 3節 相似な図形の面積と体積 章の問題	・相似な図形 ・三角形の相似条件 ・相似の利用 ・三角形の比 ・平行線と比 ・相似比と面積比、体積比と表面積比	
		18	4				
		19	2				修学旅行
		20	3				定期考査
	10 月	21	2	文化祭	第6章 円 1節 円周角の定理 2節 円周角の定理の利用	・円周角の定理 ・円の接線 ・円と相似	
		22	4				
		23	4				
		24	4				
	11 月	25	4	教育相談	第7章 三平方の定理 1節 三平方の定理 2節 三平方の定理の利用 章の問題	・三平方の定理 ・三平方の定理の逆 ・三平方の定理の利用 ・いろいろな問題	
		26	4	音楽鑑賞教室			
		27	2	定期考査			
		28	4				
	12 月	29	4	チャレドリ	第8章 標本調査 1節 標本調査 章の問題	・標本調査 ・標本調査の利用	
		30	3	三者面談			
		31	4				
		32	4				
1 月		33	1	終業式	まとめ		
		34	2	始業式	受験対策として、各単元の復習等を行う		
		35	4	校外学習			
		36	4				
		37	4				
38		4	作品展				
2 月	39	4	区中研				
	40	4	定期考査				
	41	1					
	42	2		遠足			
3 月	43	2		卒業式			
	44	1					
	45	0	修了式				

3 年数学科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	[1 章 多項式] ・単項式と多項式の乗法、多項式を単項式で割る除法の計算をすることができたか。簡単な1次式の乗法の計算、簡単な式の展開や因数分解をすることができたか。 [2 章 平方根] ・数の平方根の必要性和意味を理解できたか。数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができたか。 [3 章 2次方程式] ・2次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解できたか。解の公式の意味を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができたか。因数分解を利用して2次方程式を解くことができたか。 [4 章 関数 $y=ax^2$] ・関数 $y=ax^2$ について理解し、表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができたか。 [5 章 相似な図形] ・平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解できたか。相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解できたか。基本的な立体の相似の意味を理解し、相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係について理解できたか。 [6 章 円] ・円周角と中心角の意味を理解し、大きさを求めることができたか。 [7 章 三平方の定理] ・三平方の定理の意味を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができたか。 [8 章 標本調査] ・標本調査の必要性和意味を理解できたか。	[1 章 多項式] ・式の展開や因数分解する方法を考察し表現でき、文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明できたか。 [2 章 平方根] ・数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現でき、数の平方根を具体的な場面で活用できたか。 [3 章 2次方程式] ・平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現でき、具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断できたか。 [4 章 関数 $y=ax^2$] ・関数 $y=ax^2$ について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付け、具体的な事象を捉え、考察し表現できたか。 [5 章 相似な図形] ・三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができたか。平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめられ、相似な図形の性質を具体的な場面で活用できたか。 [6 章 円] ・円周角と中心角の関係をみいだし、具体的な場面で活用できたか。 [7 章 三平方の定理] ・三平方の定理を見いだし、具体的な場面で活用できたか。 [8 章 標本調査] ・標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現でき、簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断できたか。	[1 章 多項式] ・式の展開や因数分解をすることの必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。 [2 章 平方根] ・数の平方根の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。 [3 章 2次方程式] ・2次方程式の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。 [4 章 関数 $y=ax^2$] ・関数 $y=ax^2$ の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。 [5 章 相似な図形] ・図形の相似の意味、相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係を考え、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。 [6 章 円] ・円周角と中心角の関係をみいだし、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。 [7 章 三平方の定理] ・三平方の定理を見いだし、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。 [8 章 標本調査] ・標本調査の必要性和意味を考え、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。
	・授業観察 ・ワークシートの記入、提出状況 ・定期考査 ・小テスト ・レポート ・ワークの取組と提出物	・授業観察 ・ワークシートの記入、提出状況 ・定期考査 ・小テスト ・レポート ・ワークの取組と提出物	・授業観察 ・ワークシートの記入、提出状況 ・定期考査 ・小テスト ・レポート ・ワークの取組と提出物
	カッ テ イ ン ク ・ ボ イ ソ ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～80%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4月	1	0	単元1 いろいろな生物とその共通点	第1章 生物の観察と分類のしかた
		2	1		
		3	3		
		4	3		
	5月	5	2	単元2 身のまわりの物質	第2章 植物の分類
		6	3		
		7	2		
		8	3		
	6月	9	3	単元3 身のまわりの現象	第3章 動物の分類
		10	2		
		11	3		
		12	3		
	7月	13	3	単元4 大地の変化	第1章 身のまわりの物質とその性質
		14	3		
		15	3		
		16	2		
3 学期	9月	17	3	単元4 大地の変化	第2章 気体の性質
		18	3		
		19	1		
		20	3		
	10月	21	1	単元4 大地の変化	第3章 水溶液の性質
		22	3		
		23	3		
		24	3		
	11月	25	2	単元4 大地の変化	第4章 物質の姿と状態変化
		26	2		
		27	3		
		28	3		
	12月	29	3	単元4 大地の変化	第1章 光の世界
		30	2		
		31	3		
		32	3		
3 学期	1月	33	2	単元4 大地の変化	第2章 音の世界
		34	1		
		35	3		
		36	3		
	2月	37	3	単元4 大地の変化	第3章 力の世界
		38	3		
		39	2		
		40	3		
3 学期	3月	41	2	単元4 大地の変化	第1章 火をふく大地
		42	2		
		43	1		
		44	0		
	3月	45	0	修了式	第2章 動き続ける大地

1 年理科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	・身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力のはたらきを理解している。 ・身の回りの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解している。 ・いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物のからだの共通点と相違点を理解している。 ・大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解している ・それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	・問題を見いだし見通しをもつて観察、実験などを行い、規則性、関係性、共通点や相違点、分類するための観点や基準を見いだして表現するなど、科学的に探究している。	・物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。
評 価 方 法	・授業観察、ワークシート、小テスト、定期考査	・授業観察、ワークシート、小テスト、定期考査	・授業観察、提出物、ワークシート
カッ テ ィ ン グ ポ イ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～80%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上80%未満 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数		単元名	内 容
1 学期	4月	1	0		単元1 化学変化と原子・分子	第1章 物質のなり立ち
		2	1	始業式入学式		第2章 物質どうしの化学変化
		3	4	保護者会		第3章 酸素がかかわる化学変化
		4	4	教育相談		第4章 化学変化と物質の質量
	5月	5	2	交通安全教室		第5章 化学変化とその利用
		6	4	区中研		単元2 生物のからだのつくりとはたらき
		7	3	復習テスト		第1章 生物と細胞
		8	4	運動会		第2章 植物のからだのつくりとはたらき
		9	4	生徒総会		第3章 動物のからだのつくりとはたらき
	6月	10	4	区中研		第4章 刺激と反応
		11	4	スポーツテスト		単元3 天気とその変化
		12	3	期末考査		第1章 気象の観測
		13	4			第2章 雲のでき方と前線
	7月	14	4			第3章 大気の動きと日本の天気
		15	4			単元4 電気の世界
		16	3	終業式		第1章 静電気と電流
	9月	17	4	始業式		第2章 電流の性質
		18	4			単元3 天気とその変化
		19	2	修学旅行		第1章 気象の観測
		20	3	定期考査		第2章 雲のでき方と前線
	10月	21	2			第3章 大気の動きと日本の天気
		22	4			単元4 電気の世界
		23	4			第1章 静電気と電流
		24	4	文化祭		第2章 電流の性質
		25	3	教育相談		第3章 電流と磁界
3 学期	11月	26	3	音楽鑑賞教室		単元4 電気の世界
		27	3	定期考査		
		28	4			
		29	4	チャレドリ		
		30	3	三者面談		
	12月	31	4			
		32	4			
		33	2	終業式		
	1月	34	2	始業式		
		35	4			
		36	4			
		37	4	校外学習		
	2月	38	4	作品展		
		39	4	区中研		
		40	4			
	3月	41	2	定期考査		
		42	2	遠足		
		43	1			
		44	0	卒業式		
		45	0	修了式		

2年理科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	・化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量を理解している。 ・電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流、電流と磁界を理解している。 ・生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物の体のつくりと働き、動物のからだのつくりと働きを理解している。 ・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害を理解している。 ・それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	・見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだして表現するなど、科学的に探究している。	・物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。
評 価 方 法	・授業観察、ワークシート、小テスト、定期考査	・授業観察、ワークシート、小テスト、定期考査	・授業観察、提出物、ワークシート
カッ テ ィ ン ク ・ ポ イ ン ト	それぞれの観点別評価は原則として 90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～80%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上80%未満 「C」・・・50%未満		

学期	月	週	時数		単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0	始業式入学式 保護者会 教育相談	単元1 化学変化とイオン	第1章 水溶液とイオン
		2	1			
		3	4			
		4	4			
	5 月	5	2	交通安全教室		第2章 酸、アルカリとイオン
		6	4	区中研		
		7	3	復習テスト		
		8	4	運動会		第3章 化学変化と電池
		9	4	生徒総会		
	6 月	10	4	区中研	単元2 生命の連続性	第1章 生物の成長と生殖
		11	4	スポーツテスト		
		12	3	期末考査		
		13	4			第2章 遺伝の規則性と遺伝子
	7 月	14	4			
		15	4			
		16	3	終業式		
	9 月	17	4	始業式		第3章 生物の多様性と進化
		18	4			
		19	2	修学旅行		
		20	3	定期考査	単元3 運動とエネルギー	第1章 物体の運動
10 月	21	2				
	22	4				
	23	4		第2章 力のはたらき方		
	24	4	文化祭			
	25	3	教育相談	第3章 エネルギーと仕事		
11 月	26	3	音楽鑑賞教室			
	27	3	定期考査	単元4 地球と宇宙	第1章 地球の運動と天体の動き	
	28	4				
	29	4	チャレドリ			
12 月	30	3	三者面談		第2章 月と金星の見え方	
	31	4				
	32	4				
	33	2	終業式		第3章 宇宙の広がり	
	34	2	始業式	単元5 地球と私たちの未来のために		
3 学期	1 月	35	4		第1章 自然のなかの生物	
		36	4			
		37	4	校外学習		
		38	4	作品展		
	2 月	39	4	区中研		第2章 自然環境の調査と保全
		40	4		第3章 科学技術と人間	
		41	2	定期考査		地域とつながる
		3 月	42	2	遠足	終章 持続可能な社会をつくるために
	43		1			
	44		0	卒業式		
45	0		修了式			

3年理科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	・化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解している。 ・物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギーを理解している。 ・生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長と殖え方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化を理解している ・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星を理解している。 ・日常生活や社会と関連付けながら、生物と環境、エネルギーと物資、自然環境の保全と科学技術の利用を理解している ・それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	・見通しをもって観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、特徴、規則性、関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。 ・見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察して判断している。 ・観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。	・物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。
評 価 方 法	・授業観察、ワークシート、小テスト、定期考査	・授業観察、ワークシート、小テスト、定期考査	・授業観察、提出物、ワークシート
カッ テ ィ ン グ ・ ポ イ ン ト	それぞれの観点別評価は原則として 90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～80%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上80%未満 「C」・・・50%未満		

学期	月	週	時数		単元名	内 容
1 学期	4月	1	0		校歌を覚えよう 曲の特徴を生かして工夫して表現しよう	・校歌・区歌(歌唱) ・ドレミの歌・エーデルワイス(歌唱)
		2	1	始業式・入学式		
		3	2	保護者会		
		4	1	教育相談		
	5月	5	0	交通安全教室	曲の特徴や曲想を感じ取り鑑賞しよう	・春・魔王(鑑賞)
		6	1	区中研		
		7	1	復習テスト		
		8	1	運動会		
	6月	9	1	生徒総会	曲の形式を生かして歌おう 身近な言葉にメロディーをつけよう	・夏の思い出(歌唱) ・iPadを活用した創作(創作)
		10	1	区中研		
		11	1	スポーツテスト		
		12	1	期末考査		
	7月	13	1			
		14	1			
		15	1			
		16	0	終業式		
	9月	17	0	始業式	曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして合わせて歌おう パートの役割を生かし、曲想を感じ取って表現を工夫しよう	・My Own Road(歌唱) ・合唱コンクール自由曲(歌唱)
		18	2			
		19	1	修学旅行		
		20	2	定期考査		
	10月	21	1		曲想を感じ取り、表現を工夫しよう	・赤とんぼ(歌唱)
		22	2			
		23	2			
		24	2	文化祭		
	11月	25	1	教育相談	郷土の様々な民謡 音色や表現を味わおう	・郷土の様々な民謡(鑑賞) ・「六段の調べ」・「鹿の遠音」(創作)
		26	1	音楽鑑賞教室		
		27	2	定期考査		
		28	1			
	12月	29	2	チャレドリ	日本の楽器や音階にふれよう	・箏にふれよう(器楽)
		30	1	三者面談		
		31	1			
		32	1			
3 学期	1月	33	0	終業式	詩にあうメロディーを考えよう	・言葉の抑揚に合わせたメロディー作り(鑑賞)
		34	0	始業式		
		35	1			
		36	1			
	2月	37	1	校外学習	声部の役割や全体の響きを生かし、表現を工夫しながら合唱しよう	・旅立ちの日に(歌唱)
		38	1	作品展		
		39	1	区中研		
		40	1			
	3月	41	0	定期考査		
		42	1	遠足		
43		1				
44		1	卒業式			
		45	0	修了式		

1 年音楽科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	歌唱・器楽 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、必要な奏法、体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。 創作 ・音のつながり方の特徴、音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。 鑑賞 ・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	歌唱・器楽 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱・器楽表現を創意工夫している。 創作 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫している。 鑑賞 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	歌唱・器楽 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽の学習に取り組もうとしている。 創作 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 鑑賞 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。
評価 方 法	・授業観察、実技テスト、定期考査、ワークシート、小テスト	・授業観察、実技テスト、合唱・器楽・創作記録カード、ワークシート、定期考査	・授業観察、合唱・器楽・創作記録カード、ワークシート
カッ テ ィ ン グ ・ ボ イ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4月	1	0	言葉のまとまりや旋律を意識して歌おう	・生命が羽ばたくとき・語り合おう(歌唱)
		2	1		
		3	1		
		4	1		
	5月	5	0	音楽の形式を理解し、音色や響きを味わおう	・小フーガ短調・交響曲第五番(鑑賞)
		6	1		
		7	1		
		8	1		
	6月	9	0	曲想や曲想の変化を感じ取ろう	・浜辺の歌・花の街(歌唱)
		10	1		
		11	1		
		12	1		
	7月	13	1	パートの役割をいかし、曲想にあった表現を工夫して合唱しよう	・iPadを活用した創作(創作)
		14	1		
		15	1		
		16	0		
2 学期	9月	17	0	パートの役割を生かし、全体の響きを感じ取り、曲想を考えながら表現を工夫しよう	・合唱コンクール自由曲(歌唱)
		18	1		
		19	1		
		20	1		
	10月	21	1	曲の構成を聴き取りオーケストラによる表現を鑑賞しよう	・音楽鑑賞教室演奏曲(鑑賞)
		22	1		
		23	1		
		24	1		
	11月	25	1	雅楽の多様な表現を鑑賞しよう	・雅楽「越天楽」(鑑賞)
		26	1		
		27	1		
		28	1		
	12月	29	0	郷土の様々な芸能を鑑賞しよう	・郷土の様々な民謡(鑑賞)
		30	1		
		31	1		
		32	1		
3 学期	1月	33	0	日本の楽器や音階に触れよう	・箏にふれよう(器楽)
		34	0		
		35	1		
		36	1		
	2月	37	1	歌詞の内容を味わい、声部の役割や全体の響きを生かした合唱をしよう	・日本の音階を使った創作(創作)
		38	1		
		39	1		
		40	1		
	3月	41	0		
		42	1		
	3月	43	1		
		44	1		
	3月	45	0		

2年音楽科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	歌唱・器楽 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりとの関わり、声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、必要な奏法、体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。 創作 ・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴、音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。 鑑賞 ・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	歌唱・器楽 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したものととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱・器楽表現を創意工夫している。 創作 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したものととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。 鑑賞 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したものととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	歌唱・器楽 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽の学習に取り組もうとしている。 創作 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 鑑賞 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。
評 価 方 法	・授業観察、実技テスト、定期考査、ワークシート、小テスト	・授業観察、実技テスト、合唱・器楽・創作記録カード、ワークシート、定期考査	・授業観察、合唱・器楽・創作記録カード、ワークシート
カッ テ ィ ン グ ・ ホ イ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1学期	4月	1	0	曲想を感じ取り、形式を生かして、表現を工夫しよう	・花・荒城の月(歌唱)
		2	1		
		3	1		
		4	1		
	5月	5	0	曲想を感じ取り音楽の背景を理解して鑑賞しよう	・ブルタバ・フィンランディア(鑑賞)
		6	1		
		7	1		
		8	1		
	6月	9	0	学級歌を作ろう	・ipadを活用し、歌詞を考えた曲づくり(創作)
		10	1		
		11	1		
		12	1		
	7月	13	1	曲想を感じ取り曲の特徴を生かして合わせて歌おう	・明日のために(歌唱)
		14	1		
		15	1		
		16	1		
2学期	9月	17	0	パートの役割を生かし、全体の響きを感じ取り、曲想を考えながら表現を工夫しよう	・合唱コンクール自由曲(歌唱)
		18	1		
		19	0		
		20	1		
	10月	21	1	様々な総合芸術から豊かな表現活動を学ぶとともに、音楽とのかかわりを比較しながら鑑賞しよう	・歌舞伎「勧進帳」・オペラ「アイーダ」・ミュージカル(鑑賞)
		22	1		
		23	1		
		24	1		
	11月	25	0	学級歌を仲間と完成しよう	・共同作業での曲作り(創作)
		26	1		
		27	1		
		28	1		
	12月	29	1	日本の楽器や音階に触れよう	・箏にふれよう(器楽)
		30	1		
		31	1		
		32	1		
3学期	1月	33	0	声部の役割や全体の響きを生かし、卒業に向けた歌詞にふさわしい表現を工夫しながら合唱しよう	・旅立ちの日に(歌唱) ・卒業生の合唱(歌唱)
		34	0		
		35	1		
		36	1		
	2月	37	1	区中研	
		38	1		
		39	1		
		40	1		
	3月	41	0	遠足	
		42	1		
		43	1		
		44	1		
		45	0	修了式	

3年音楽科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	歌唱・器楽 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりとの関わり、声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、必要な奏法、体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。 創作 ・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴、音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。 鑑賞 ・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	歌唱・器楽 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱・器楽表現を創意工夫している。 創作 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。 鑑賞 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	歌唱・器楽 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽の学習に取り組もうとしている。 創作 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 鑑賞 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。
評価方法	・授業観察、実技テスト、定期考査、ワークシート、小テスト	・授業観察、実技テスト、合唱・器楽・創作記録カード、ワークシート、定期考査	・授業観察、合唱・器楽・創作記録カード、ワークシート
カットインクボイント	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0	美術との出会い	鑑賞：色彩の効果を使った作家紹介 ・色彩が与える印象について
		2	1		
		3	2	画材について	鑑賞：画材の学習・絵の具の使い方・他画材の使い方
		4	1	絵の中にある物語	鑑賞：想像力をはたらかせた鑑賞 ・作品の要素(構図、色彩、表情など)から意図に迫る
	5 月	5	1	見つめて、感じて、描いて 静物画の制作	表現：鉛筆・アクリルガッシュによる制作 ・デッサン、スケッチの方法 ・アクリルガッシュの使い方
		6	1		
		7	0		
		8	1		
	6 月	9	1		
		10	1		
		11	1		
		12	1		
	7 月	13	1		
		14	1		
		15	1		
		16	1		
2 学期	9 月	17	1	夏休み課題事前指導	表現：ポスター画の描き方・発想・構想の方法・デザインの基礎
		18	1	夏休み課題鑑賞	鑑賞：ポスター画の鑑賞・デザイン要素からの鑑賞
		19	2	デザインの基礎	表現：デザインの基礎 ・色彩・構図について ・レタリング
		20	1	文字が生み出すイメージ	表現：レタリング実技 ・文字の観察、ユニバーサルデザイン
	10 月	21	1		
		22	1		
		23	1		
		24	1	文化祭	
	11 月	25	1	教育相談	
		26	1	音楽鑑賞教室	原始美術の鑑賞
		27	1	定期考査	鑑賞：原始美術の鑑賞・当時の技術、道具、表現方法
		28	2	モダンテクニック	表現：レタリングのデザイン 鑑賞：様々なマークやロゴ
	12 月	29	1	チャレドリ	
		30	1	三者面談	
		31	1		
		32	1		
3 学期	1 月	33	1	終業式	
		34	1	始業式	屏風・美の世界
		35	1		鑑賞：日本画の鑑賞 ・日本画の特徴、文化
		36	1		材料に命を吹き込む
	2 月	37	1	校外学習	表現：粘土を使用した彫刻 ・自然物からの見立て ・材料からの色彩、質感など造形的特徴の理解
		38	1	作品展	
		39	1	区中研	
		40	1		
	3 月	41	1	定期考査	
		42	1	遠足	
		43	1		
		44	1	卒業式	
		45	0	修了式	

1 年 美術科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	【A 表現】 〈絵や彫刻〉 ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 〈デザインや工芸〉 ・形や色彩、材料、光、などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 【B 鑑賞】 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	【A 表現】 〈絵や彫刻〉 ・対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、創造したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 〈デザインや工芸〉 ・伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練っている。 【B 鑑賞】 ・身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考え、見方・感じ方を広げている。	【A 表現】 〈絵や彫刻〉 ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 〈デザインや工芸〉 ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。 【B 鑑賞】 ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子	・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子	・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子
カッ テ ィ ン グ ホ イ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数		単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0		学びの実感と深まり	鑑賞:日本のアーティスト作品の鑑賞 ・同一モチーフによる表現の違いを味わう
		2	0	始業式入学式		
		3	1	保護者会		
		4	1	教育相談		
	5 月	5	1	交通安全教室	ピクトグラム	表現:ピクトグラム制作 ・形や色彩から感覚に訴えるデザイン ・単純化された要素のデザイン
		6	1	区中研		
		7	0	復習テスト		
		8	1	運動会		
	6 月	9	1	生徒総会		
		10	1	区中研		
		11	1	スポーツテスト		
		12	1	期末考査		
	7 月	13	1		浮世絵っておもしろい	鑑賞:浮世絵の鑑賞 ・浮世絵の大胆な構図、技術を知る
		14	1		夏休み課題事前指導	表現:ポスター画の描き方 ・発想・構想の方法 ・デザインの基礎
		15	1			
		16	0	終業式		
	9 月	17	1	始業式	思いが飛び出すカード	表現:立体カード制作 ・形や色彩の構成、平面を立体に変化させる仕組みの工夫 ・紙の性質の理解
		18	1			
		19	1	修学旅行		
		20	2	定期考査		
	10 月	21	0			
		22	1			
		23	1			
		24	1	文化祭		
	11 月	25	1	教育相談	日本文化との出会い	鑑賞:ジャポニズム作品の鑑賞・当時の美術文化の理解
		26	1	音楽鑑賞教室		
		27	1	定期考査		
		28	1			
	12 月	29	0	チャレドリ	透視図法	表現:透視図法によるルームデザイン ・透視図法の理解 ・透視図法の応用によるデザイン
		30	1	三者面談		
		31	1			
		32	1			
3 学期	1 月	33	0	終業式	自由な視点で風景を見つめる	表現:風景画制作 ・透視図法の応用 ・対象をとらえる新たな視点の獲得
		34	0	始業式		
		35	1			
		36	1			
	2 月	37	0	校外学習		
		38	0	作品展		
		39	1	区中研		
		40	1			
	3 月	41	1	定期考査		
		42	1	遠足		
		43	1			
		44	1	卒業式		
		45	0	修了式		

2 年 美術科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	【A 表現】 〈絵や彫刻〉 ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果を理解している。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 〈デザインや工芸〉 ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果を理解している。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 【B 鑑賞】 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	【A 表現】 〈絵や彫刻〉 ・対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、協調、材料の組み合わせを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 〈デザインや工芸〉 ・使う目的や条件などを基に、使用するものの立場、社会とのかかわり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 【B 鑑賞】 ・日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特性から、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付く、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えて、見方や感じ方を深めている。	【A 表現】 〈絵や彫刻〉 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えたことを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 〈デザインや工芸〉 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。 【B 鑑賞】 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評 価 方 法	・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子	・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子	・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子
カッ テ ィ ン グ ・ ポ イ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数		単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0		学びの探究と未来	鑑賞：建築美術の鑑賞 ・歴史における美術の在り方についての理解
		2	1	始業式入学式		
		3	1	保護者会	仏像に宿る心	鑑賞：仏像の鑑賞 ・仏像の創作技法、時代背景の理解
		4	1	教育相談		
	5 月	5	0	交通安全教室	魅力を伝えるパッケージ	表現：パッケージデザインの制作 ・伝達をはじめ、構成や装飾、用途、機能を目的にデザイン ・材料や材質の吟味
		6	1	区中研		
		7	1	復習テスト		
		8	0	運動会		
		9	1	生徒総会		
	6 月	10	1	区中研		
		11	1	スポーツテスト		
		12	1	期末考査		
		13	1			
	7 月	14	1			
		15	1			
		16	1	終業式		
	9 月	17	1	始業式	ルネサンスが目指したもの(2時間)	鑑賞：ルネサンス当時の美術作品の鑑賞 ・遠近感のある画面構成、空間表現
		18	1		今を生きる私へ(7時間)	表現：自画像制作 ・自己を見つめ、内面から主題を生み出し、表現する
		19	1	修学旅行		
		20	1	定期考査		
	10 月	21	1			
		22	1			
		23	1			
		24	1	文化祭		
		25	1	教育相談		
	11 月	26	1	音楽鑑賞教室	あの日を忘れない	鑑賞：災害をテーマにした鑑賞 ・社会における美術の力を考える
		27	1	定期考査		
		28	1			
		29	0	チャレドリ		
	12 月	30	1	三者面談	イメージを追い求めて	表現：粘土を使用した抽象彫刻の制作 ・独創的な見方・考え方からの抽象的表現 ・あらゆる視点からの発想・構想
		31	1			
		32	1			
		33	0	終業式		
3 学期	1 月	34	0	始業式	どこまで修復すべきか	鑑賞：修復の視点を通した美術作品の鑑賞 ・美術文化の継承を考える ・価値意識に基づいた考え
		35	1		イメージを追い求めて(7時間)	表現：粘土を使用した抽象彫刻の制作 ・独創的な見方・考え方からの抽象的表現 ・あらゆる視点からの発想・構想
		36	1			
		37	1	校外学習		
	2 月	38	0	作品展		
		39	1	区中研		
		40	1			
	3 月	41	1	定期考査		
		42	1	遠足		
		43	0			
		44	0	卒業式		
		45	0	修了式		

3 年 美術科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	【A 表現】 〈絵や彫刻〉 ・形や色彩、材料、光、などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 〈デザインや工芸〉 ・形や色彩、材料、光、などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 【B 鑑賞】 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	【A 表現】 〈絵や彫刻〉 ・対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、協調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 〈デザインや工芸〉 ・構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。 【B 鑑賞】 ・日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特性などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めている。	【A 表現】 〈絵や彫刻〉 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 〈デザインや工芸〉 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。 【B 鑑賞】 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評 価 方 法	・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子	・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子	・ 授業中の制作の様子 ・ 作品 ・ 提出物 ・ 定期考査 ・ 振り返りの様子
カッ テ イ ン ク 、 ポ イ ント	それぞれの観点別評価は原則として		
	90～100%・・・「5」	「A」・・・80%以上	
	80～90%・・・「4」	「B」・・・50%以上	
	50～75%・・・「3」	「C」・・・50%未満	
	20～50%・・・「2」		
	0～20%・・・「1」		

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0	A 体づくり運動 C 陸上競技 H 体育理論 運動やスポーツの多様性 [保健分野] 心身の機能の発達と心の健康	A 体づくり運動 ・オリエンテーション、集団行動 ・アジリティ、筋トレ ・運動会練習 C 陸上競技 ・短距離走、リレー、1500M走 H 体育理論 運動やスポーツの多様性 ・運動やスポーツの必要性和楽しさ
		2	1		
		3	3		
		4	3		
	5 月	5	2	[保健分野] 心身の機能の発達と心の健康 ・体の発育・発達 ・呼吸器・循環器の発育・発達 ・生殖機能の成熟 ・異性の尊重と性情報への対処	[保健分野] 心身の機能の発達と心の健康 ・体の発育・発達 ・呼吸器・循環器の発育・発達 ・生殖機能の成熟 ・異性の尊重と性情報への対処
		6	3		
		7	3		
		8	3		
	6 月	9	3	[保健分野] 心身の機能の発達と心の健康	[保健分野] 心身の機能の発達と心の健康 ・知的機能と情意機能の発達 ・社会性の発達と自己形成
		10	2		
		11	2		
		12	3		
	7 月	13	2	[保健分野] 心身の機能の発達と心の健康	[保健分野] 心身の機能の発達と心の健康 ・知的機能と情意機能の発達 ・社会性の発達と自己形成
		14	3		
		15	3		
		16	2		
2 学期	8 月	17	3	B 器械運動 E 球技(ベースボール型) H 体育理論 運動やスポーツの多様性	B 器械運動(マット運動) E 球技(ソフトボール) H 体育理論 ・運動やスポーツへの多様な関わり方
		18	3		
		19	1		
		20	3		
	9 月	21	1	C 陸上競技	C 陸上競技(長距離走)
		22	3		
		23	3		
		24	3		
	10 月	25	2	ロードレース大会 F 武道 E 球技(ベースボール型)	ロードレース大会 F 武道 E 球技(ソフトボール)
		26	2		
		27	1		
		28	3		
	11 月	29	3	[保健分野] 心身の機能の発達と心の健康③ 健康的な生活と疾病の予防①	[保健分野] 心身の機能の発達と心の健康③ ・心と体の関わり ・欲求と欲求不満 ・ストレスへの対処と心の健康
		30	2		
		31	3		
		32	3		
3 学期	12 月	33	1	H 体育理論 運動やスポーツの多様性	H 体育理論 運動やスポーツの多様な楽しみ方
		34	1		
		35	3		
		36	3		
	1 月	37	3	[保健分野] 心身の機能の発達と心の健康③ 健康的な生活と疾病の予防①	[保健分野] 心身の機能の発達と心の健康③ ・心と体の関わり ・欲求と欲求不満 ・ストレスへの対処と心の健康
		38	3		
		39	3		
		40	3		
	2 月	41	1	H 体育理論 運動やスポーツの多様性	H 体育理論 運動やスポーツの多様な楽しみ方
		42	3		
		43	3		
		44	1		
4 学期	3 月	45	0	卒業式	卒業式
		46	0		

1 年保健体育科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	(体育分野) ・各種目の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解している。	(体育分野) ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	(体育分野) ・学習に主体的に取り組もうとしている。
	(保健分野) ・各種目の特性に応じた技能を身に付けている。	(保健分野) ・健康な生活と疾病の予防について理解することができる。	(保健分野) ・分担した役割を果たそうとしている。
評 価 方 法	・基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できる。	・健康な生活と疾病の予防について理解することができる。	・作戦などの話し合いに参加しようとしている。
	(保健分野) ・健康な生活と疾病の予防について理解することができる。	(保健分野) ・健康な生活と疾病の予防について理解することができる。	(保健分野) ・健康・安全に気を配りながら学習に取り組もうとしている。
評 価 方 法	・心身の機能の発達と心の健康について理解することができる。	・心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたことなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。	(保健分野) ・自他の健康に関心を持ち、学習に主体的に取り組もうとしている。
	・欲求やストレスへの対処では、ストレスによる心身の負担を軽くするような対処の方法ができるようにする。	・心身の機能の発達と心の健康について理解することができる。	(保健分野) ・自他の健康に関心を持ち、学習に主体的に取り組もうとしている。
評 価 方 法	・学習カード ・実技テスト ・定期考査 ・観察	・観察 ・学習カード ・定期考査 ・ワーク	・観察 ・学習カード ・ワーク
カ ッ テ ィ ン グ ・ ボ イ ン ト	90～100%・・・「5」	それぞれの観点別評価は原則として	
	80～90%・・・「4」	「A」・・・80%以上	
カ ッ テ ィ ン グ ・ ボ イ ン ト	50～80%・・・「3」	「B」・・・50%以上	
	20～50%・・・「2」	「C」・・・50%未満	
カ ッ テ ィ ン グ ・ ボ イ ン ト	0～20%・・・「1」		

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学 期	4 月	1	0		A 体づくり運動 C 陸上競技 H 体育理論 運動やスポーツの効果
		2	1	始業式入学式	・オリエンテーション、集団行動 ・アジリティ、筋トレ ・運動会練習
		3	3	保護者会	
		4	3	教育相談	[保健分野] 健康な生活と疾病の予防②
	5 月	5	2	交通安全教室	
		6	3	区中研	C 陸上競技 ・短距離走、リレー、1500M走 H 体育理論 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全① ・運動やスポーツが心身に及ぼす効果
		7	3	復習テスト	[保健分野] 健康な生活と疾病の予防② ・生活習慣の起こり方、予防・がんの予防
		8	3	運動会	C 陸上競技 ・喫煙の害と健康・飲酒の害と健康 ・薬物乱用の害と健康
	6 月	9	3	生徒総会	E 球技(ネット型) D 水泳
		10	2	区中研	
		11	2	スポーツテスト	E 球技(バドミントン) D 水泳(クロール、平泳ぎ、背泳ぎ)
		12	3	期末考査	[保健分野] 健康な生活と疾病の予防②
		13	2		
	7 月	14	3		[保健分野] 健康な生活と疾病の予防② ・薬物乱用の社会的な影響 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の要因と適切な対処
		15	3		
		16	2	終業式	
	9 月	17	3	始業式	
		18	3		
		19	1	修学旅行	E 球技(ベースボール型) B 器械運動
		20	3	定期考査	H 体育理論 運動やスポーツの意義と効果
	10 月	21	1		H 体育理論 ・運動やスポーツの学び方 C 陸上競技(長距離走)
		22	3		
		23	3		
		24	3	文化祭	
		25	2	教育相談	ロードレース大会 F 武道 E 球技(卓球)
	11 月	26	2	音楽鑑賞教室	[保健分野] 傷害の防止① ・傷害、交通事故の発生要因 ・交通事故の危険予測と回避 ・犯罪被害の防止
		27	1	定期考査	
		28	3		
		29	3	チャレドリ	
	12 月	30	2	三者面談	
		31	3		
		32	3		
		33	1	終業式	
3 学 期	1 月	34	1	始業式	E 球技(ゴール型)
		35	3		
		36	3		G ダンス (現代的なリズムのダンス)
		37	3	校外学習	[保健分野] 傷害の防止 ・自然災害による危険 ・自然災害による傷害の防止 ・共に生きる ・応急手当の意義と心肺蘇生
	2 月	38	3	作品展	
		39	3	区中研	
		40	3		
		41	1	定期考査	H 体育理論 運動やスポーツの安全な行い方
	3 月	42	3	遠足	
		43	3		
		44	1	卒業式	
		45	0	修了式	

2年保健体育科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	(体育分野) ・各種目の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解している。 (体育分野) ・各種目の特性に応じた技能を身に付けている。 ・基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できる。 (保健分野) ・健康な生活と疾病の予防について理解することができる。 ・傷害の防止について理解することができる。 ・胸骨圧迫、AED使用などの心肺蘇生法、包帯法、止血法としての直接圧迫止血法などを取り上げ、実習を通して応急手当ができるようにする。	(体育分野) ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (保健分野) ・健康な疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。 ・傷害の防止に関わる事象や情報から課題を発見し、自他の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。	(体育分野) ・学習に主体的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレイを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・作戦などの話合いに参加しようとしている。 ・健康・安全に気を配りながら学習に取り組もうとしている。 (保健分野) ・自他の健康に関心を持ち、学習に主体的に取り組もうとしている。
評 価 方 法	・学習カード ・実技テスト ・定期考査 ・観察	・観察 ・学習カード ・定期考査	・観察 ・学習カード
カッ テ ィ ン グ ・ ホ イ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～80%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

3 年保健体育科 評価規準

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0	<男女共習> A 体づくり運動 C 陸上競技 H 体育理論 文化としてのスポーツの意義①	<男女共習> A 体づくり運動 ・オリエンテーション、集団行動 ・アジリティ、筋トレ ・運動会練習 C 陸上競技 ・短距離走、リレー、1500M走 H 体育理論 文化としてのスポーツの意義① ・現代生活におけるスポーツの文化的意義
		2	1		
		3	3		
		4	3		
	5 月	5	2	[保健分野] 健康的な生活と疾病の予防① 交通安全教室 区中研 復習テスト 運動会 生徒総会 新体力テスト 区中研 スポーツテスト 期末考査 D 水泳	[保健分野] 健康と環境① ・環境への適応能力 ・活動に適する環境 ・室内の空気の衛生的管理
		6	3		
		7	3		
		8	3		
	6 月	9	3		
		10	2		
		11	3		
		12	3		
	7 月	13	3		
		14	3		
		15	3		
		16	2		
	9 月	17	3	[保健分野] 健康的な生活と疾病の予防② 始業式 始業式 修学旅行 定期考査 <男女共習> E 球技(ベースボール型)	[保健分野] 健康と環境② ・飲料水の衛生的管理 ・生活に伴う廃棄物の衛生的管理
		18	3		
		19	1		
		20	3		
3 学期	10 月	21	3	H 体育理論 文化としてのスポーツの意義② 文化祭 教育相談 音楽鑑賞教室 定期考査 E 球技(ネット型) [保健分野] 健康的な生活と疾病の予防③ 三者面談 E 球技(ゴール型)	H 体育理論 文化としてのスポーツの意義② ・国際的なスポーツ大会が果たす文化的な役割 C 陸上競技(長距離走) F 武道(柔道) E 球技(卓球) [保健分野] 健康的な生活と疾病の予防③ ・感染症の原因とその広がり方 ・感染症の予防 ・性感染症の予防
		22	3		
		23	3		
		24	3		
	1 月	25	2		
		26	2		
		27	1		
		28	3		
	12 月	29	3		
		30	2		
		31	3		
		32	3		
	1 月	33	1		
		34	1		
		35	3		
		36	3		
3 学期	2 月	37	3	[保健分野] 健康的な生活と疾病の予防④ ・エイズの予防 ・保健、医療機関の利用 ・個人の健康を守る社会の取り組み H 体育理論 文化としてのスポーツの意義③ ・人々を結びつけるスポーツの文化的な働き	[保健分野] 健康と環境③ 健康的な生活と疾病の予防④ ・エイズの予防 ・保健、医療機関の利用 ・個人の健康を守る社会の取り組み
		38	3		
		39	3		
		40	3		
	3 月	41	1		
		42	2		
		43	1		
		44	0		
	3 月	45	0		

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	(体育分野) ・各種目の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解している。 (体育分野) ・各種目の特性に応じた技能を身に付けている。 ・基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できる。 (保健分野) ・健康な生活と疾病の予防について理解することができる。 ・健康と環境について理解することができる。	(体育分野) ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (保健分野) ・健康な疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。 ・健康と環境に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。	(体育分野) ・学習に主体的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレイを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・作戦などの話合いに参加しようとしている。 ・健康・安全に気を配りながら学習に取り組もうとしている。 (保健分野) ・自他の健康に関心を持ち、学習に主体的に取り組もうとしている。
評 価 方 法	・学習カード ・実技テスト ・定期考査 ・観察	・観察 ・学習カード ・定期考査 ・ワーク	・観察 ・学習カード ・ワーク
カッ テ ィ ン グ ・ ポ イ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～80%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0	エネルギー変換の技術	情報通信ネットワーク
		2	0		
		3	1		
		4	1		
	5 月	5	1		設計製図
		6	1		
		7	1		
		8	1		
	6 月	9	0		木材加工
		10	1		
		11	1		
		12	1		
	7 月	13	1		情報の技術
		14	1		
		15	1		
		16	0		
3 学期	9 月	17	0		情報モラル
		18	1		
		19	0		
		20	1		
	10 月	21	1		双方向性のあるプログラミング
		22	1		
		23	0		
		24	1		
	11 月	25	0		遠足
		26	1		
		27	1		
		28	1		
	12 月	29	1		卒業式
		30	0		
		31	1		
		32	1		
3 学期	1 月	33	1		修了式
		34	1		
		35	1		
		36	1		
		37	1		
3 学期	2 月	38	1		卒業式
		39	1		
		40	1		
		41	1		
		42	1		
3 学期	3 月	43	1		卒業式
		44	1		
		45	0		

1 年技術家庭(技術)科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	材料と加工に関する技術 ・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。 ・木材、金属、プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。 ・身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動などを通して、構造と部材を丈夫にする方法について理解している。 ・材料と加工の技術の概念について理解している。 ・製作に必要な図の描き方を理解している。 ・製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。 情報の技術 ・情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。	材料と加工に関する技術 ・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 ・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。 ・材料と加工の技術の最適化について考えている。 情報の技術 ・情報の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。	材料と加工に関する技術 ・主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。 情報の技術 ・主体的に情報の技術について考えようとしている。
評 価 方 法	・授業観察、定期考査、ワークシート	・授業観察、ワークシート、定期考査	・授業観察、ワークシート
カッ テ ィ ン グ ・ ホ イ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～80%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4 月	1		家族・家庭生活 衣食住の生活	・家庭科分野のガイダンス ・食事の役割・健康に良い食習慣
		2	1		
		3	1		
		4	1		
	5 月	5		衣食住の生活	食事の役割と中学生の栄養の特徴
		6	1		
		7	1		
		8			
		9	1		
	6 月	10	1		中学生に必要な栄養を満たす食事
		11			
		12	1		
		13	1		
	7 月	14	1		
		15	1		
		16	1		
2 学期	8	17	1	衣食住の生活	・基本的な補修の技能を用いた作品製作 ・衣服の選択と手入れ ・自分らしくコーディネート
	9 月	18	1		
		19	1		
		20	1		
	10 月	21	1		
		22	1		
		23	1		
		24	1		
		25			
	11 月	26	1		
		27	1		
		28			
		29	1		
		30	1		
	12 月	31	1		
		32	1		
		33			
3 学期	1 月	34	1	消費生活・環境	日常食の調理と地域の食文化
		35	1		
		36	1		
		37	1		
	2 月	38	1		
		39	1		
		40	1		
		41			
	3 月	42	1		
		43	1		
		44			
		45			

1 年技術家庭(家庭)科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。 ・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成方法について理解している。 ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして解決する力を身に付けている。 ・中学生の1日分の献立について問題を見出して設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価方法	・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 ・製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価方法	・計画的な金銭管理の仕方について理解している。 ・契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・物資・サービスの選択・購入自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現に向けて金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価方法	・定期考査、ワークシート、作品、実技テスト	・授業観察、ワークシート、定期考査、作品	・授業観察、ワークシート、作品、レポート
カットポイント	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満 90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」		

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0	エネルギー変換の技術	情報通信ネットワーク ・情報通信ネットワークの仕組み
		2	0		
		3	1		
		4	1		
	5 月	5	1	情報の技術	コンピュータの基礎知識 ・情報のデジタル化 ・安全に利用するための情報モラル ・安全に利用するための情報セキュリティ ・情報の技術の工夫の読み取り ・文章処理ソフトの使い方 ・ハンコの製作 ・プレゼンテーションソフトウェアの機能 ・表計算ソフトウェアの機能
		6	1		
		7	1		
		8	1		
	6 月	9	0		
		10	1		
		11	1		
		12	1		
	7 月	13	1		
		14	1		
		15	1		
		16	0		
	9 月	17	0	エネルギー変換の技術	エネルギー変換の仕組み ・エネルギー変換の技術とは ・発電の仕組みと特徴 ・電気を供給する仕組み ・電気回路について考えよう ・電気機器を安全に使用するための技術 ・運動エネルギーへの変換と利用 ・回転運動を伝える仕組み ・機械が動く仕組み ・機械の共通部品と保守点検の大切さ ・エネルギー変換の技術の工夫の読み取り
		18	1		
		19	0		
		20	1		
3 学期	10 月	21	1	情報の技術	双方向性のあるプログラミング ・双方向性のあるコンテンツとは ・問題の発見、課題の設定 ・コンテンツの構想 ・コンテンツのプログラムの制作 ・問題解決の評価、改善・修正
		22	1		
		23	0		
		24	1		
	11 月	25	0		
		26	1		
		27	1		
		28	1		
	12 月	29	1		
		30	0		
		31	1		
		32	1		
		33	1		
	1 月	34	1		
		35	1		
		36	1		
	2 月	37	1		
		38	1		
		39	1		
		40	1		
	3 月	41	1		
		42	1		
		43	1		
		44	1		
		45	0		

2 年技術家庭(技術)科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	生物育成の技術 ・生物を育てる技術の目的について理解している。 ・動物を健康に育てるための技術について理解している。 情報の技術 ・情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。 ・情報のデジタル化の仕組み, デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。 ・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。 エネルギー変換の技術 ・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。 ・発電の仕組みと特徴について理解している。 ・電源の種類と特徴や, 送電・配電の仕組みを理解している。 ・機械が運動を伝える仕組みについて理解している。	生物育成の技術 ・生物育成の技術に込められた工夫を読み取り, 「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 情報の技術 ・育成する作物に適した環境条件について考えている。 情報の技術 ・情報の技術に込められた工夫を読み取り, 「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 エネルギー変換の技術 ・さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。 ・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り, 「技術の見方・考え方」に気付くことができる。	生物育成の技術 ・主体的に生物育成の技術について考えようとしている。 ・他者と協働して, 粘り強く取り組もうとしている。 情報の技術 ・主体的に情報の技術について考えようとしている。 エネルギー変換の技術 ・主体的にエネルギー変換の技術について考えようとしている。 ・電気による事故を防ぐ方法について考えている。 ・他者と協働して, 粘り強く取り組もうとしている。
評 価 方 法	・授業観察、定期考査、ワークシート	・授業観察、ワークシート、定期考査	・授業観察、ワークシート
カッ テ ィ ン グ ・ ボ イ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～80%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数		単元名	内 容
1 学期	4 月	1			衣食住の生活	住まいの働き 安全な住まい 持続可能な住生活 ・住居の機能と安全な住まい方 ・家庭内事故、災害対策 ・持続可能な住まい方
		2	1	始業式入学式		
		3	1	保護者会		
		4	1	教育相談		
	5 月	5		交通安全教室	消費生活・環境	持続可能な社会 に向けて ・エンカル消費
		6	1	区中研		
		7	1	復習テスト		
		8	1	運動会		
	6 月	9	1	生徒総会	衣食住の生活	生活を豊かにする ための布を用 いた製作 ・生活を豊かにする工夫 ・製作の計画 ・布を用いた物の製作
		10	1	区中研		
		11	1	スポーツテスト		
		12		期末考査		
	7 月	13	1			
		14	1			
		15	1			
		16	1	終業式		
2 学期	8 月	17	1	始業式		
		18	1			
		19		修学旅行		
		20	1	定期考査		
	9 月	21	1			
		22	1			
		23	1			
		24	1	文化祭		
	10 月	25		教育相談		
		26	1	音楽鑑賞教室		
		27	1	定期考査		
		28				
	11 月	29	1	チャレドリ	衣食住の生活	日常食の調理と 地域の食文化 ・肉の性質について ・肉の調理 ・魚の性質について ・魚の調理 ・野菜の性質について ・野菜の調理 ・食中毒予防
		30	1	三者面談		
		31	1			
		32	1			
	12 月	33		終業式		
3 学期	1 月	34	1	始業式	家族・家庭生活	家庭・家族や地域 との関わり 幼児の成長と発 達 ・自分の成長と家族 ・家庭生活と地域との関わり ・乳幼児の生活と家族
		35	1			
		36	1			
		37	1	校外学習		
	2 月	38	1	作品展		
		39	1	区中研		
		40	1			
		41		定期考査		
	3 月	42	1	遠足		
		43	1			
		44		卒業式		
		45		修了式		

2 年技術家庭(家庭)科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度・
評 価 規 準	・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・家庭内事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善して考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組み改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	・製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解している。 ・地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	・資源や環境に配慮し、製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善して考察したことを論理的に表現するなどして課題解決する力を身に付けている。 ・衣食住の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し計画を立てて実践したことを論理的に表現するなどして課題解決する力を身に付けている。	・生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・衣食住について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
方 法	・定期考査、ワークシート、作品、実技テスト	・授業観察、ワークシート、定期考査、作品	・授業観察、ワークシート、作品、レポート
カッ テ ィ ン グ ・ ポ イ ン ト	それぞれの観点別評価は原則として 90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満		

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4 月	1		エネルギー変換の技術	情報通信ネットワーク ・情報通信ネットワークの仕組み
		2			
		3	1		
		4			
	5 月	5		電気工作	・ダイナモラジオの製作 ・はんだごての使い方 ・電気機器の安全な利用 ・保守点検
		6	1		
		7			
		8	1		
	6 月	9		材料と加工の技術	
		10			
		11	1		
		12			
	7 月	13	1		
		14			
		15	1		
		16			
2 学期	8 月	17	1	文章処理ソフトの操作	・文章処理ソフトの使い方 ・デジタルデザインした作品の製作
		18			
		19	1		
		20			
	9 月	21	1	プログラミング	・計測・制御システムとは ・問題の発見、課題の設定 ・計測・制御システムの構想 ・計測・制御システムのプログラムの制作 ・問題解決の評価、改善・修正
		22			
		23	1		
		24			
	10 月	25	1		
		26			
		27	1		
		28			
	11 月	29	1		
		30			
		31	1		
		32			
	12 月	33	1		
		34			
3 学期	1 月	35		情報モラル	・安全に利用するための情報モラル ・安全に利用するための情報セキュリティ
		36	1		
		37			
		38	1		
	2 月	39			
		40			
		41	0.5		
		42			
	3 月	43			
		44			
		45			

3 年技術家庭(技術)科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	エネルギー変換の技術 ・電気機器の安全な使い方について理解している。 ・機械の共通部品と保守点検の大切さについて理解している。 情報の技術 ・情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる技能を身に付けている。 ・情報セキュリティの基本的な知識について理解している。 ・計測・制御システムの基本的な構成を理解している。 ・計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。 ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。	エネルギー変換の技術 ・電気による事故を防ぐ方法について考えている。 ・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 情報の技術 ・情報の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。 ・情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。	エネルギー変換の技術 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。 情報の技術 ・情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けようとしている。 ・情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。 ・主体的に情報の技術について考えようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。
評価方法	・授業観察、定期考査、ワークシート	・授業観察、ワークシート、定期考査	・授業観察、ワークシート
カットポイント	それぞれの観点別評価は原則として 90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～80%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満		

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4 月	1		家族・家庭生活 幼児の生活と家族	・幼児の生活習慣の習得 ・幼児の生活と遊び ・幼児のおもちゃの製作
		2	1		
		3			
		4	1		
	5 月	5			
		6	1		
		7			
		8	1		
		9			
	6 月	10	1		
		11			
		12	1.5		
		13			
	7 月	14	1		
		15			
		16			
2 学期	8 月	17			
		18	1		
		19			
		20	1		
		21			
	9 月	22	1		
		23			
		24	1		
		25			
		26			
	10 月	27			
		28	0.5		
		29			
		30	1		
		31			
	11 月	32	1		
		33			
		34	1		
		35			
		36	1		
3 学期	12 月	37			
		38			
		39			
		40	1		
		41	0.5		
	1 月	42			
		43			
		44			
		45			

3 年技術家庭(家庭)科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。 ・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関りで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わりについて理解している。	・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・家族、幼児の生活又は地域の生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活又は地域の生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
方 法	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解している。 ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 ・定期考査、ワークシート、作品、実技テスト	・日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・授業観察、ワークシート、定期考査、作品	・日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・授業観察、ワークシート、作品、レポート
カッテ イン ク ボイ ント	それぞれの観点別評価は原則として 90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満		

学期	月	週	時数	単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0	Get Ready	・自己紹介、インタビュー ・アルファベットの形と発音、フォニックス
		2	1		
		3	4		
		4	4		
	5 月	5	3	交通安全教室	
		6	3	区中研	
		7	3	英語早わかり Step1[発表上手になろう]	
		8	3	運動会	
		9	4	生徒総会	
		10	4	区中研	
		11	3	スポーツテスト	
		12	2	期末考査	
	6 月	13	4	英語早わかり Step2[考えを整理し、表現しよう]	
		14	4	Our Project1[あなたの知らない私]	
		15	4	Power-Up1[ハンバーガーショップへ行こう] Power-Up2[持ち主をたずねよう]	
		16	3	終業式	
	7 月	17	4	始業式	
		18	3	英語早わかり	
		19	4	修学旅行	
		20	2	定期考査	
2 学期	9 月	21	2	Power-Up3[学校案内をしよう]	
		22	4	Program6[The Way to School]	
		23	3		
		24	4	文化祭	
	10 月	25	4	教育相談	
		26	3	音楽鑑賞教室	
		27	2	定期考査	
		28	4	英語早わかり Step4[聞き上手になろう]	
	11 月	29	4	疑問詞のまとめ	
		30	4	Our Project2[この人を知っていますか]	
		31	3	三者面談	
		32	4	色を使った英語表現	
	12 月	33	4	Program8[Happy New Year!]	
		34	2	終業式	
		35	1	始業式	
		36	4	Power-Up4[ショッピングをしよう]	
3 学期	1 月	37	3	Program9[A Trip to Finland]	
		38	4	校外学習	
		39	4	Step5[発表用メモを活用しよう]	
		40	4	作品展	
	2 月	41	3	Power-Up5[インタビューを聞こう]	
		42	3	Program10[Grandma Baba's Warning Ideas!]	
		43	4	英語早わかり Step6[絵や写真を英語で表現しよう]	
		44	2	定期考査	
	3 月	45	4	Our Project3[私が選んだ1枚]	
		46	1	卒業式	

1 年英語科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	【聞くこと】 ・英語の特徴やきまりを理解している。 ・日常や社会の話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉えることができる。 【読むこと】 ・英語の特徴やきまりを理解している。 ・日常や社会の話題について書かれた文章等を読んで、その内容を捉えることができる。 【話すこと（やりとり）】 ・英語の特徴やきまりを理解している。 ・日常や社会の話題について、事実や自分の考えなどを、簡単な表現を用いて伝え合う技能を身に付けている。 【話すこと（発表）】 ・英語の特徴やきまりを理解している。 ・日常や社会の話題について、事実や自分の考えなどを、簡単な語句や文を用いて、書く技能を身に付けている。	【聞くこと】 ・目的や場面などに応じて、日常や社会の話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。 【読むこと】 ・目的や場面などに応じて、日常や社会の話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。 【話すこと（やりとり）】 ・お互いのことを理解し合うために、日常的な話題について、情報を加えて応答したり、適切な質問をしたりしながら伝え合っている。 【話すこと（発表）】 ・日常的な話題について現代の標準的な発音、語や句、文における基本的なアクセント、基本的な区切りで話す技能を身に付けている。 【書くこと】 ・目的や場面などに応じて、日常や社会の話題について、事実や自分の考えなどを、簡単な表現を用いて、書いている。	【聞くこと】 ・異文化を理解し、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。 【読むこと】 ・異文化を理解し、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。 【話すこと（やりとり）】 ・意欲的に相手とやり取りをしたり、相手のことや自分のことについて表現したりしようとしている。 【話すこと（発表）】 ・あるトピックについて意欲的に自分の考えを発表しようとしている。 【書くこと】 ・関心のある事柄、日常的な話題について、自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。
	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・プレゼンテーション ・小テスト ・ワークシート	・定期考査・小テスト・プレゼンテーション・パフォーマンステスト ・リスニングテスト・ワークシート	・課題(ノート・ワーク・宿題等) ・言語活動に取り組む姿勢
	それぞれの観点別評価は原則として		
	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

学期	月	週	時数		単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0		1年生の復習	・一般動詞の過去形(復習)
		2	3	始業式・入学式		・be動詞の過去形・過去進行形(復習)、未来の表現
		3	4	保護者会		・動名詞(動詞 + ing)
		4	4	教育相談	PROGRAM 1 New Start	
	5 月	5	2	交通安全教室	辞書を読んでみよう	・辞書に書かれている情報について確認する
		6	4	区中研	PROGRAM 2 Koshien Project in Africa	・接続詞when/if
		7	4	復習テスト		
		8	2	運動会	Power-Up 1 天気予報を聞こう	・willなど(復習)
	6 月	9	4	生徒総会	PROGRAM 3 Taste of Culture	・不定詞(to+動詞の原形)
		10	4	区中研		
		11	2	スポーツテスト	Step 2 魅力を伝えるためのコツを知ろう	・魅力を効果的に伝えるポイント
		12	4	期末考査		
		13	4		Our Project 4	・今までの復習
	7 月	14	4		海外でヒットするラーメンのCMを作ろう	
		15	4			
		16	1	終業式	Reading 1 The Three Dolls	・今までの復習
9 月	9 月	17	4	始業式	PROGRAM 4 Leave Only Footprints	・感情の原因を表す不定詞
		18	4			・must / have (has) to～
		19	3	修学旅行	Power-Up 2 電話をかけよう	・電話で使う表現
		20	3	定期考査	Power-Up 3 レストランで食事をしよう	・レストランでの対話表現
	10 月	21	4		PROGRAM 5 Work Experience	・how to ～ / 疑問詞+不定詞の使い方
		22	4			・look + 形容詞 / become + 名詞[形容詞] / 主語+動詞+人+もの
		23	3		Step 3 わかりやすい見出しをつけよう	・パンフレットやポスターにわかりやすい見出しをつけるポイント
		24	4	文化祭	PROGRAM 6 High-Tech Nature	・比較級、最上級
		25	4	教育相談		・as～as …
	11 月	26	3	音楽鑑賞教室	Power-Up 4 メールで近況報告をしよう	・メールで使う表現
		27	4	定期考査	Step4 相手にわかりやすい説明をしよう	・相手が知らない事柄についてわかりやすく説明する
		28	4		Our Project 5 日本のおすすめスポットを紹介しよう	・今までの復習
		29	4	チャレドリ		
12 月	30	4	三者面談	Reading 2 Friendship beyond Time and Borders	・グループワークで有名人についてわかりやすく説明する	
	31	2			・国境を越えての「友情」に関する英文を読み取る	
	32	2		Word Web 4 いろいろな前置詞	・位置を表す前置詞	
	33	3	終業式	PROGRAM 7 Unique Animals	・likeを使う比較表現	
3 学期	1 月	34	5	始業式		・teach [tell] +人+how to ～
		35	2		Power-Up5 飛行機のアナウンスを聞こう	・空港や飛行機内での英語表現
		36	4		Step 5 説得力のある説明をしよう	・客観的な事実や具体的な理由をまじえた説明のポイント
		37	4	校外学習	PROGRAM 8 A Hope for Lasting Peace	・受け身
	2 月	38	4	作品展		
		39	5	区中研	Our Project 6 My Heroの魅力を伝えよう	・今までの復習
		40	1			
		41	2	定期考査	Reading 3 Apollo13	・今までの復習
	3 月	42	2	遠足		・今までの復習
		43	2		1年間の復習	
44		0	卒業式			
45		0	修了式			

2年英語科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	【聞くこと】 ・英語の特徴やきまりを理解している。 ・日常や社会の話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉えることができる。 【読むこと】 ・英語の特徴やきまりを理解している。 ・日常や社会の話題について書かれた文章を読みその内容を捉えることができる。 【話すこと（やりとり）】 ・英語の特徴やきまりを理解している。 ・日常や社会の話題について、事実や自分の考えなどを、簡単な表現を用いて伝える技能を身に付けている。 【話すこと（発表）】 ・英語の特徴やきまりを理解している。 ・日常や社会の話題について、事実や自分の考えなどを、簡単な表現を用いて話す技能を身に付けている。 【書くこと】 ・英語の特徴やきまりを理解している。 ・日常や社会の話題について、事実や自分の考えなどを、簡単な表現を用いて、正確に書く技能を身に付けている。	【聞くこと】 ・目的や場面などに応じて、日常や社会の話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。 【読むこと】 ・目的や場面などに応じて、日常や社会の話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。 【話すこと（やりとり）】 ・目的や場面などに応じて、日常や社会の話題について、事実や自分の考えなどを、簡単な表現を用いて、伝え合っている。 【話すこと（発表）】 ・目的や場面等に応じて、日常や社会の話題について、事実や自分の考えなどを、簡単な表現を用いて話している。 【書くこと】 ・目的や場面などに応じて、日常や社会の話題について、事実や自分の考えなどを、簡単な表現を用いて書いている。	【聞くこと】 ・異文化を理解し、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。 【読むこと】 ・異文化を理解し、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。 【話すこと（やりとり）】 ・異文化を理解し、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。 【話すこと（発表）】 ・異文化を理解し、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。 【書くこと】 ・異文化を理解し、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。
	・定期考査 ・単語小テスト ・ワークシート ・パフォーマンステスト	・定期考査 ・リスニングテスト ・パフォーマンステスト ・プレゼンテーション、スピーチ	・課題(ノート・ワーク・宿題等) ・授業態度(挙手、発言など) ・言語活動に取り組む姿勢
	それぞれの観点別評価は原則として		
	カット	90～100%・・・「5」	「A」・・・80%以上
	イン	80～90%・・・「4」	「B」・・・50%以上
	ク	50～75%・・・「3」	「C」・・・50%未満
	ポイ	20～50%・・・「2」	
	ント	0～20%・・・「1」	

学期	月	週	時数		単元名	内 容
1 学期	4 月	1	0		2年次の復習・辞書を使いこなそう	・現在完了形の復習、句動詞について確認する
		2	3	始業式・入学式		
		3	4	保護者会	Program1 <i>Bentos</i> Are Interesting!	・ask [tell/want] (人) to…の用法 ・It is ~ (for 人) to…の用法
		4	4	教育相談		・<主語 + be動詞 + 形容詞 +that>の用法
	5 月	5	4	交通安全教室	Word Web1 家の中と外 Steps1 ディベートをしよう	・家具や設備、衣服などのいい方を理解する ・ディベートの流れや意見の主張の仕方を理解する
		6	4	区中研	Program2 Good Night. Sleep Tight.	・間接疑問文の用法
		7	2	復習テスト		・主語+動詞+(人)+that節の用法
		8	4	運動会		
	6 月	9	4	生徒総会		
		10	3	区中研	Power-Up1 道案内をしよう	・電車を乗り換える時の道案内の表現を理解する
		11	2	スポーツテスト	Program3 A Hot Sport Today	・主語+動詞+目的語+名詞/形容詞/動詞の原形の用法
		12	4	期末考査		・重要な情報を聞き取る
	7 月	13	4		Steps2 メモのとり方を学ぼう	
		14	4		Our Project7 記者会見を開こう	・既習事項を活用して発表のための英文を作成する。
		15	4			
		16	2	終業式		
2 学期	9 月	17	4	始業式	Power-Up2 不良品を交換しよう	・買った物を返品したり交換するときの表現を理解する。
		18	4		Reading1 Faithful Elephants	・「かわいそうなゾウ」の物語を読み理解する。
		19	2	修学旅行	Program4 Sign Languages, Not Just Gestures!	
		20	4	定期考査		・現在分詞、過去分詞による後置修飾の用法
	10 月	21	4			
		22	4		Power-Up3 ホームページで学校を紹介しよう Steps3 簡単な表現で言いかえよう	・学校を紹介するホームページの内容を理解する。 ・言葉の言いかえについて理解する。
		23	3		Program5 The Story of Chocolate	・関係代名詞の主格(who/which/that)の用法
		24	4	文化祭		
	11 月	25	4	教育相談	Steps4 わかりやすい文章を考えよう Word Web2 動詞の使い分け	・つなぎ言葉などの使い方を理解する ・複数の意味をもつ動詞について理解し正しい英文を書く
		26	3	音楽鑑賞教室	Program6 The Great Pacific Garbage Patch	・関係代名詞の目的格(which/that)の用法、目的格の省略の用法
		27	2	定期考査		
		28	4		Steps5 ディスカッションをしよう Power-Up4 非常時のアナウンスをしよう	・ディスカッションの流れや用法を理解する。 ・非常時のアナウンスの表現を理解することができる。
	12 月	29	4	チャレドリ	Our Project8 あなたの町を世界にPRしよう	・既習事項を活用して、地元を紹介する英文を作成・発表する
		30	4	三者面談		
		31	4		Program7 Is AI a Friend or an Enemy?	・仮定法過去(be動詞・一般動詞)の用法
		32	4			・<I wish + 主語 + 仮定法過去>の用法
3 学期	1 月	33	1	終業式	Reading2 Malala's Voice for the Future	・教科書にある発展的な英文を読み、読解力を育成する。
		34	3	始業式	Reading2 Malala's Voice for the Future Speaking 中学校の思い出を残そう Word Web3 オリンピック競技・パラリンピック競技	・入試演習問題を行い、実戦力を身につける。
		35	4			
		36	4		Further Reading2 Library Lion	
	2 月	37	4	校外学習	3年間の総復習 入試問題演習	・文法問題演習
		38	3	作品展		・都立3文英作文対策
		39	3	区中研		・長文問題対策(対話文、物語文)
		40	4			・リスニング対策
	3 月	41	2	定期考査		
		42	2	遠足		
		43	0			
		44	0	卒業式		
		45	0	修了式		

3年英語科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	【聞くこと】 ・英語の特徴やきまりを理解している。 ・日常的、社会的な話題について話された内容を捉える技能を身につけている。 【読むこと】 ・英語の特徴やきまりを理解している。 ・日常的、社会的な話題について書かれた文章を読み、内容を捉える技能を身につけている。 【話すこと（やりとり）】 ・英語の特徴やきまりを理解している。 ・日常的、社会的な話題について事実や自分の考えなどを既習の語句や文を活用して伝えあう技能を身につけている。 【話すこと（発表）】 ・英語の特徴やきまりを理解している。 ・日常的、社会的な話題について事実や自分の考えなどを既習の語句や文を活用して伝えあう技能を身につけている。 【書くこと】 ・英語の特徴やきまりを理解している。 ・日常的、社会的な話題について事実や自分の考えなどを既習の語句や文を正確に活用して書く技能を身につけている。	【聞くこと】 ・目的や場面、状況に応じて、日常的、社会的な話題について話された内容の必要な情報や要点を捉えている。 【読むこと】 ・目的や場面、状況に応じて、日常的、社会的な話題について書かれた文章を読んで必要な情報や要点を捉えている。 【話すこと（やりとり）】 ・目的や場面、状況に応じて、日常的、社会的な話題について事実や自分の考えなどを既習の語句や文を活用して伝え合っている。 【話すこと（発表）】 ・目的や場面、状況に応じて、日常的、社会的な話題について事実や自分の考えなどを既習の語句や文を活用して話している。 【書くこと】 ・目的や場面、状況に応じて、日常的、社会的な話題について事実や自分の考えなどを既習の語句や文を活用して書いている。	【聞くこと】 ・異文化を理解し、話し手に配慮しながら、既習事項を活用して主体的に英語を聞こうとしている。 【読むこと】 ・異文化を理解し、書き手に配慮しながら、既習事項を活用して主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。 【話すこと（やりとり）】 ・異文化を理解し、聞き手や話し手に配慮しながら、既習事項を活用して主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。 【話すこと（発表）】 ・異文化を理解し、聞き手に配慮しながら、既習事項を活用して主体的に英語を用いて話そうとしている。 【書くこと】 ・異文化を理解し、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、既習事項を活用して主体的に英語を用いて書こうとしている。
評 価 方 法	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート ・パフォーマンステスト	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート ・パフォーマンステスト ・リスニングテスト	・課題(ノート・ワーク・宿題等) ・言語活動に取り組む姿勢
カッ テ ィ ン グ ・ ホ ・ イ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	